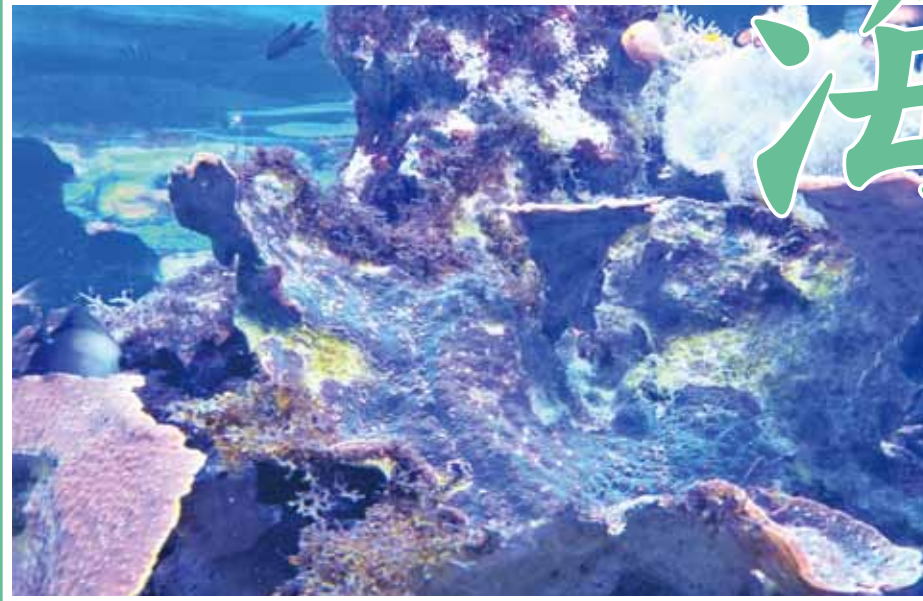


vol.36 july. 2021



拓海

「海」を切り開く匠の業と心

CONTENTS

2021年 出会い	
入学特集	
入学・進学のみなさんへ	3
在学生から新入生のみなさんへ	7
先輩留学生から新入生のみなさんへ	14
大学での学び方	16
卒業生より 業界で活躍しているOB・OGの方々	28
新任教員の紹介	30
自治委員会・学生会 報告書	38
大学祭特集～海王祭～	40
ニュース&トピックス	41
就職情報	45
学生相談室からのお知らせ	49
お知らせ	52

◆2021年 出会い

■入学特集

◎入学・進学のみなさんへ

「プリコラーージュ」	井関 俊夫……	3
大学は何をするところか？	黒瀬 光一……	4
入学おめでとうございます	元田 慎一……	5
困難を乗り越えていこう	田中 祐志……	5
「何でも見てやろう」と「一所懸命」	兵藤 哲朗……	6

◎在学生から新入生のみなさんへ

自由人のすゝめ	津田 真咲……	7
新入生の皆さんへ	守谷奈津子……	7
新入生の皆さんへ	早野有未花……	8
海の未来のために、海洋大生ができること	大屋進之介……	9
新入生諸君へ	吉川航太郎……	9
新入生の皆さんへ	吉良千亜季……	10
新入生の皆さんへ	松井 晶子……	10
悩める後輩の皆さんへ	塚本 大……	11
新入生の皆さんへ	加納 翼……	11
新たな環境と向き合うみなさんへ	川野 桃子……	12
充実したキャンパスライフを送るために	高橋 宏知……	12
新入生の皆さんへ	柿原 功宗……	13

◎先輩留学生から新入生のみなさんへ

先へ！先へ！	黄 馨田……	14
先輩留学生から新入生へ	Htoo Nay Wunn……	15

■大学での学び方

◎学科の特色ある実習の紹介

海洋生物資源学科	矢澤 良輔……	16
ECDIS演習	竹本 孝弘……	17

◎実習感想記

実習感想記	齋藤亨一郎……	18
実習感想記	福田 彩乃……	18
実習体験記	漸井 彩乃……	19
実習感想記	鶴巻 碧衣……	19
実習感想記	坂本 瑛昭……	20
汐路丸乗船実習	山田 有紗……	20
実習感想記	伏見 理子……	21
実習感想記	幅口 美月……	21

◎資格取得に向けて

資格取得に向けて	高橋あゆみ……	22
水産専攻科と海技士	岩佐 晃……	22

◎大学院で学べること

海洋システム工学専攻	田中健太郎……	23
海洋システム工学専攻	清水 悦郎……	24
応用環境システム学専攻	藤井 竣……	25

◎卒業論文・修士論文への取り組み方

研究は一人でやるものではない	関口菜々子……	26
----------------	---------	----

卒業論文への取り組み方	今村 歩美……	26
修士論文への取り組み方	小林 海斗……	27

■業界で活躍しているOB・OGの方々

飲料プラントを作っています	中尾裕一郎……	28
行政官として働いて	笠井 崇弘……	29

■新任教員の紹介

水圏生殖工学研究所	森田 哲朗……	30
海洋生物資源学部門	小祝敬一郎……	30
食品生産科学部門	ラベ ベレス イヴァン アントニオ……	31
食品生産科学部門	レド マーク アンソニー ポリヴァ……	31
海事システム工学部門	平井友里恵……	32
海洋電子機械工学部門	桑田 敬司……	32
海洋電子機械工学部門	市川 桂……	33
海洋電子機械工学部門	柴田 恭幸……	33
流通情報工学部門	坂井 孝典……	34
海洋環境科学部門	吉田 毅郎……	34
海洋環境科学部門	今 孝悦……	35
海洋環境科学部門	山本 絢子……	35
海洋資源エネルギー学部門	野村 瞬……	36
海洋資源エネルギー学部門	吴 連慧……	36
総合情報基盤センター	下地 邦寿……	37

■自治委員会・学生会報告書

品川キャンパス自治委員会	……	38
海洋工学部 学生会	……	39

■大学祭特集

海王祭の紹介	峰村 海希……	40
--------	---------	----

■ニュース&トピックス

・令和2年度学位記・修了証書授与式を 挙りました……	41
・令和2年度学生表彰授与式、学業優秀学生 奨学金授与式、学会等各賞表彰式を行いました ……	42
・令和3年度入学式を挙りました……	44

■就職情報

・令和2年度卒業者の就職先……	45
-----------------	----

■学生相談室からのお知らせ

・学生相談室について……	49
・令和3年度学生支援教員……	50
・本学の学生相談体制について……	51

■お知らせ

・交換留学をしてみませんか？……	52
・国立科学博物館および 国立美術館の利用について……	53
・緊急時連絡システムについて……	54
・ネットワーク障害防止のための注意事項……	56
・東京海洋大学校友会のご案内……	58
・掲示板……	59

2021年 出会い

入学特集

入学・進学のみなさんへ

「ブリコラージュ」

学長
井関俊夫

新学期が始まって2ヶ月ほど経ちました。ゴールデンウィーク直前から新型コロナウイルス感染症対策のために3度目の緊急事態宣言が発出され、学内への入構制限が再び厳しくなりました。皆さんは心身ともに健やかに、勉強や研究に集中できていますでしょうか。ワクチンの大規模接種がようやく始まり、自粛生活のゴールが少し見えて来た感もあります。来年の今頃には「あの時は大変だったね！」と笑顔で肩をたたき合っていることを願っています。それまでの間に、経済的問題も含めて、学生生活で不安なことがあったら、なんでも遠慮なく大学に相談してください。小冊子『学生生活ガイド』には、皆さんが困っている内容に応じて、誰に相談すれば良いかが分かりやすく示されています。一人で思い悩まず、この辛い時期を一緒に乗り越えましょう。

話は変わりますが、先日、国立大学法人等監事協議会講演会に遠隔参加させて頂いた際に、印象的なカタカナ言葉に出会いました。標題の「ブリコラージュ」です。講演は東京医科歯科大学の藤谷茂樹監事によるもので、当大学の使命として新型コロナウイルスに真正面から対峙することを決断した田中雄二郎学長のリーダーシップの下に、附属病院内に陽性患者の受け入れ体制を急遽構築したという、昨年4月頃の感動的な実話でした。講演の中で藤谷監事は、未知のウイルスに対して、経験と技術を武器として挑んだ医療現場の戦いをブリコラージュという言葉で表現されていました。ブリコラージュ (bricolage) とは、「有り合わせの材料で目的の物を作り上げる」のような意味の言葉で、



元々はフランス語で「その場を取り繕う」といったネガティブな意味合いもあるようです。私としては、「制約のある条件の下で、工夫して目標を達成する」とことと理解していますが、東京医科歯科大学の場合は、医療スタッフの身体的・精神的な健康を確保しながらの、患者の生命を守る戦いですから、さらに厳粛かつ崇高であると思います。考えてみれば、ブリコラージュに該当することはこれまでも沢山あったのだと思います。新しい病気と向き合う際の医療というのは、難易度の差はあるとしても、すべてブリコラージュですし、7年間にわたる宇宙飛行を終えて地球に戻って来た小惑星探査機「はやぶさ」もブリコラージュの積み重ねの結果といえるでしょう。

私たちの日常生活レベルに目を転ずると、冷蔵庫に

ある材料だけで晩御飯を作ることや、勉強していない問題を試験時間中に何とか解こうと努力することもブリコラージュの一種であると気づきます。自分の頭の中にある知識を総動員して、問題に対処しようとする行為は、実は、私たちが日常的に行っている普通のことのようです。ここで重要なことは、初めて出会った問題に対して、過去の問題との類似点を発見できること、そして、その本質的な解決法を十分に理解していることだと思えます。

新型コロナウイルス感染症の影響で、従来の多くの社会的システムが成立しなくなり、大きな変革と苦難の時期がやって来るかも知れません。皆さんは新しい未来を切り開く使命と期待を担う世代であり、「持続可能な開発目標」、いわゆるSDGsの達成のように、前の世代が対応してこなかった数多くの難問に取り組みなければなりません。その時に役立つことは、広範な知識を吸収し、諸問題の解決法について深く思いを巡らせること、今まさに大学で学んでいることではないでしょうか。

皆さんにとって現在は、将来のブリコラージュのための準備期間なのかも知れません。自分の専門科目を勉強することは当然ですが、他の専門分野の科目や、もっと基本的な総合科目や基礎（教育）科目も非常に重要な役割を果たすことでしょう。コロナ禍で、慣れない遠隔授業が多いとはいえ、「必要な単位数が揃ったから、これ以上の授業は取らない」などと考えるのはとても勿体ない話です。皆さんが将来存分に活躍できるように、履修登録の上限まで、興味ある科目を片端から受講して、広範な知識を身に付けて下さい。もちろん、追加の授業料は不要です。お得な話だと思いませんか。



大学は何をしたらいいところか？



海洋生命科学部長

黒瀬 光一

苦しい受験勉強を乗り越え、晴れて本学の学生となった皆さんに一つ尋ねたいことがあります。大学は何をしたらいいところですか？

皆さんの学生生活はまだ始まったばかりですが、私自身振り返ってみますと、学生時代に経験した様々なことが、今の自分を形作っているといっても過言ではないくらい、学生時代は人生の中で重要な時期であったと思っています。学生生活の中心にあるのが大学ですが、いったい大学は何をしたらいいところなのでしょう？

私なりの見解を少しお話ししたいと思います。

皆さん学生の立場からすれば、大学は教育を受け、研究をおこなうところである、ということになるかと思いますが、一口に教育といっても、高校までのそれとは異なり、内容は各教員が自由に考え、また、必ずしも、定まった答えがない場合もあります。したがって、教育を受ける皆さんは高校までの勉強に対する姿勢を変え、問題意識をもって、自分の頭で考えることが求められます。

また、4年生になると卒業論文を書くために研究室に入り、1年にわたり研究をおこなうこととなります。世界中の誰も答えを知らない未知への知的チャレンジの始まりです。研究成果を出すことはとてもワクワクすることですし、そのためにはもちろん、3年生までに修得した知識や、それまでに訓練してきた、自分の頭で考えて問題を解決する能力がものをいいます。

そして、卒業研究を経てその成果を論文にまとめるという作業は、皆さんがこれから社会に出て自分の人生と未来を切り開いていく上で、とてもよい訓練になるのです。知識も大事ですが状況に応じた情報収集、論理的思考、論理的文章作成能力などが重要となってきます。

また、研究室やサークル活動などを通じて、同級生をはじめ先輩、後輩、教職員など、多くの人と出会い、生涯にわたり強い絆で結ばれるような関係が生まれることもあるでしょう。

皆さんに、そのような場を提供するところ、それが大学であり、東京海洋大学であると私は思っています。

皆さんが、自分自身の手で、本学・海洋生命科学部での4年間を有意義なものにされることを祈念いたします。

入学おめでとうございます



海洋工学部長
元 田 慎 一

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。新型コロナウイルスという未知なる感染症と戦う中、例年とは異なる受験の形に戸惑いながらも、現在この場所に堂々と立っておられる皆さんに、心からお祝い申し上げます。入学に際し、本来であれば桜の咲き誇る中、新たな学舎を前に夢と希望に胸躍らせていたであろう時期に、新型コロナウイルスを渦巻く社会環境から入学式は簡素化され、多人数で集まることも禁止。その後、キャンパスへの入構制限もあり、大学生活をスムーズにスタートする事が出来ないと感じた方も多い事でしょう。しかし、私は敢えて悪いことばかりではない、と言いたい。なぜなら、コロナ禍の影響を受けたみなさんは、これまでの年代と違い、感染症という「想定外」を経験し、自らの立場、周りとの協調、社会的秩序に基づいた行動、そして、そのひとつひとつが、いかにその後の社会に影響を与えるか知っていると思うからです。

私は、いつも新入生に大学に来た価値は何か？、と問います。答えは人それぞれあると思いますが、その一つに「多様性 (Diversity) を知ること」があるのではないのでしょうか。大学には高校までの偏差値という評価方法はありません。GPAはありますが、それだけで良いという事ありません。いろいろな能力、得意分野、文化を持った友人、先輩・後輩、留学生、そして先生と交流し学ぶことで、その後の理不尽な社会を渡っていける能力を養えることが、大学生のメリットだと思います。例えば、船舶が悪天候などで到着港を変更することをDivertと言いますが、「想定外」を準備することは、多様性の最たるものではないのでしょうか。

長い人生でみなさんの目的地は、今、考えているものとは違うかもしれない。目的地を見失う人もいるかもしれない。でも、どういう状況になっても、ものごとを前向きに捉える多様性を、本気になって本学で身に付けて欲しいと思うのです。コロナ禍はいずれ間違いなく収束に向かいます。我々教員もみなさんをサポートしますので、頑張って一緒に学んで行きましょう。

困難を乗り越えていこう



海洋資源環境学部長
田 中 祐 志

百年に一度の異常に耐えつつ勉学に励み入学された諸君に祝意と敬意を表すると同時に、病に冒されたり近親者を亡くしたりした方々には心からお見舞い申し上げます。経済的に困っている方には、大学等の支援体制も活用し、苦しい中でも前を向いて何とか乗り切られるよう願う。

この文章を書いている今も東京を始め幾つかの都府県は緊急事態宣言下にある。拓海が発行される頃には収束しているだろうか。そう願うばかりだが、現状を嘆いたり責任を迫及したりするのは無益だ。疫病禍が収まるまで自分も含め一人一人が耐えるしかない。息が詰まる霧の中のような毎日ではあるが、諸君には、大学で学ぶ学生として、人生の礎を築き卒業後の活躍のため応用できる知識と技術を獲ることに日々全力を傾けられるよう願う。若い諸君は時間が無限にあるように感じているかも知れない(自分はそうだった)。しかし誰にも1日は24時間、学部での4年は1400日ほどしかない。百才まで元気に生き得るとしても、新入生には今から3万日だ。この人生の時間を大切に使おう。そのために大学生として生活と行動を自ら制御しよう。スマートフォンに操られて時間を浪費し精神を摩滅している人は愚かで見苦しく、それを操って時間を活用し精神を成長させ得る人は賢く恰好良い。

18才を過ぎた諸君は大人である。その覚悟を備えよ。経済的に親などに依存していても精神的には独立しているべきだ。様々な場面で大学生の父母等が「保護者」と呼ばれるが、適切で無いと考える。同様に、大学を学校と呼んだり大学生を生徒と呼んだりすることを、私はしない。

新入生諸君！ 大学に入った今こそ精神的に独立した大人として歩み始める時だ。本学の学歌(星野哲郎作詞)の二番に、こう書いてある：「時代は正に若者の鉄の腕と英智に宿る」！

この禍を一日でも早く収束させるべく、大人である諸君には自らを律した生活と行動を呼びかける。共にこの困難を乗り越えていこう。

「何でも見てやろう」と「一所懸命」



大学院海洋科学技術研究科長

兵藤 哲朗

大学院に進学または入学された皆さん、遠隔授業などまだ慣れない日々かと思いますが、一言、お伝えしたいこと

があります。

私が修士課程の学生の時、研究室の一つ下の同じ修士課程の後輩に、「大学院生活ってどう？」と聞いたとき、彼は「貴族になったみたい」と答えました。要は、大学院で、貴族のような優雅な時間を過ごしているということでしょうか。彼の言葉通り、大学院時代とは極めて自由な時間に恵まれます。その時間を活かすため、2つの方向性を考えてみて下さい。一つはもちろん研究室に所属するのですから、関連する研究のreviewをシッカリこなすことです。幸い本学では主要な英文journalを無料で購読することもできますので、特に英論文の多読に慣れて下さい。自分の専門のjournalであれば、毎号の目次を覚えるくらいに、何を読めばよい

のかは指導教員が教えてくれます。英文を読む速度が向上すると、専門以外でもそのスキルを十分活かせるでしょう。これは「一所懸命」ですね。

もう一つは視野を広げることです。60年前のベストセラーで「何でも見てやろう」（現・講談社文庫）という痛快な本があります。作家の小田実がフルブライトのアメリカ留学後、世界を放浪するという内容ですが、詳細はともかく、「何でも見てやろう」という精神で、専門以外のことにも触手を伸ばして下さい。図書館や書店でいつもと違うコーナーの本をデタラメに手にすることで良いですし、品川なら越中島、越中島なら品川の専門外の授業に顔を出すのも一興です。それ以外でも、ネットの時代なので、スマホを通じて否が応でも情報は目に飛び込んできます。しかし、それでは受動的なので、情報は自ら能動的に取得するようにしましょう。自らの考えを持って取舍選択した情報は、脳内で構造化され、あなたの血肉となるはずですよ。

是非、「考えて、考えぬく大学院生活」を満喫してください！



2021年 出会い

入学特集

在学生から

新入生のみなさんへ

自由人のすゝめ

海洋生命科学部 海洋生物資源学科4年

津田 真咲

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。昨年からの新型コロナウイルスの流行により生活は激変し、厳しい状況乗り越えて受験された方も多かったことでしょう。そんな中この東京海洋大学に無事合格できた皆さんの胸には、不安もあるでしょうが同時に希望が満ちていることでしょう。

さて、大学生といえばやっぱりサークル活動があったり、高校の時より長い休暇があったりと今までとは違うというイメージがあります。自分は上京してきた地方民だったので、東京を満喫したいなと思っているんな場所に練り歩いたりしたものです。要するに何が言いたいかというと、大学生になると何かに縛られない、自分の好きなようにできる時間が今までに比べるかに多くなる、ということです。

何かやりたいと思ってくすぶっていたけれども、なかなかやる気が起きなくて手が出せていないこと、今まではお小遣いが少なくて買えなかったもの、機会がなく触れることができなかったもの。そのきっかけはサークルであったり、友達であったり、先生の雑談であったりと、案外いろんなところに転がっていたりします。ほんの少し、気が向いたときでいいのでそれらを自由な時間にやってみませんか？

ちなみに私はカメラでおしゃれな写真を撮りたいとずっと思っていたので、バイト代でカメラを買って、ウツボの写真を撮ったり、猫ちゃんの写真を撮ったり、ちょっとおしゃれなカフェに行って写真を撮ったりしました。



新入生の皆さんへ

大学院海洋科学技術研究科 海洋生命資源科学専攻2年

守谷 奈津子

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。僭越ながら、私が皆さんにお伝えしたいことは、何事も諦めずにチャレンジするということです。大学は高校までとは異なり、あらゆることに対して自由度が高いです。授業は自身の興味のあるものを選択できるため、学びたい分野を学ぶことができますし、サークルに入っただけで何か打ち込むこともできます。また、アルバイトをして貯金し、遠い場所へ旅行に行くことだってできます。このように、大学生活は自身の望むよう、いかようにも過ごすことができます。これほどに自由な生活を送れる時間は、大学生の今しかないです。この時間を無駄にせず、有意義なものにしていくために、何事にもためらわずに挑戦してみてください。「諦めたら

そこで試合終了ですよ」という言葉のように、取り組む前から無理だと決めつけたり、諦めたりしたら手に入れられるものも逃がしてしまいます。多少きつくても、それを乗り越えることができたのなら、きっと一皮むけた新しい自分に出会えるでしょう。

私自身も現在取り組んでいる研究活動において、実験がうまくいかず、諦めそうになった経験があります。しかし、そこで諦めるのではなく、粘り強く試行錯誤を繰り返すことで、成功に導くことができました。試練の時は終わりが見えず、逃げ出したい気持ちが勝りますが、克服したという経験は自信に変わっていくことでしょう。

大学生活は意外に長いようで短いです。是非この時間を実りあるものにしてください。祈っております。



実習場で自身が飼育しているニジマス



新入生の皆さんへ

海洋生命科学部 食品生産科学科4年

早野 有未花

新入生の皆さん、この度はご入学おめでとうございます。昨年は新型コロナウイルスの流行を受け、大変な思いをされたかと存じます。新生活への希望に反し、先の見えない不安を抱えていらっしゃるかもしれません。事態が好転することを祈りつつ、今私たちができる感染防止対策をしっかりと行っていきましょう。

さて、私からは、1年次に参加した「海外探検隊」での経験についてお話させていただきます。海外探検隊とは、アジアやヨーロッパの大学や会社に1か月程度派遣され、研究をはじめとした様々な経験ができるプログラムです。参加を決意したきっかけは、物事に対して消極的な性格を変えたいと思ったことでした。失敗を恐れて挑戦を拒むうえ、英語を話す能力が皆無だった私が異国で過ごした経験は、大きな自信になりました。その結果、以前よりも物事に挑戦するハードルが以前よりも少し下がりました。また、異国の文化に触れ、友人と長期間過ごしたことで、自分の価値観に変化がありました。さらに、派遣先の大学で行った実験が私の興味の方向性を変え、現在、入学当初は思ってもみなかった研究室に所属しています。

大学生活は、想像以上に早く過ぎ去っていきます。「学生」というレッテルを活かし、失敗を恐れずに様々な挑戦をしてはいかがでしょうか。どんな経験も、皆さんの糧となることと存じます。最後になりましたが、皆様の大学生活が充実したものになりますよう、心よりお祈り申し上げます。



写真中央、幕を持っている4人のうち、一番右が筆者。

海の未来のために、海洋大生ができること

海洋生命科学部 海洋政策文化学科3年

大屋 進之介

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。今年も新型コロナウイルスの影響で思うような大学生活を送れていないのが現状だと思います。しかしこの辛抱もきっともう少しです。コロナが明けた時には、授業やサークル、友人作りなど全力で楽しんでほしいと思います。

さて、皆さんはこれまでにどのような海の思い出がありますか？きっと楽しい思い出がたくさんあるのではないのでしょうか。私自身、富山県の漁村で生まれ育ち、幼い頃から釣りや魚の飼育、漁師との交流などを楽しんできました。ご存じの通り、日本は豊かな海に囲まれていて、そこには沢山の生き物たちが暮らしています。海の中はどんな世界が広がっているのだろうと考えるだけでワクワクします。また我々人間はずっと昔から海の恵みを頂いて命を繋いできました。海と人と魚が深くつながりあっていたのです。

しかし近年、そんな日常的で当たり前であるはずの海が、国民にとって遠い存在になってきていると感じます。国民の海への関心が薄れていると思うのです。その結果、海を取り巻く数多くの課題が山積しています。この現状を変えるためには、海やその周りに暮らす人々の営みをよく理解し、寄り添う必要があります。その学びを多くの人々に伝えていく事も重要です。その役目を担うのが、まさしく我々海洋大生であると思っています。

新入生の皆さんには、海洋大にしかない授業や実習などを主体的に受け、身近な海に関心を持ってほしいと思います。そして海の未来のために、ともに進んでいきましょう。



新入生諸君へ

海洋工学部 海事システム工学科4年

吉川 航太郎

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在校生一同、皆さんのご入学を心より歓迎いたします。

海洋大学での生活には慣れてきましたでしょうか、とは言っても、なかなか思うような学生生活を送ることができず、不安になっている方もいらっしゃると思います。我々在校生も、新入生の皆さんとの交流がなかなか叶わず、もどかしい思いを感じております。この苦難を、全員で乗り越えて行きたいと強く思います。

海洋大学は、その規模の小ささ故、教授と学生、学生同士、人と人との関わりを深く持つことができる大学であると、四年目にして感じております。だからこそ様々な情報、機会を皆が共有することができ、自分の世界を広げるチャンスがたくさんあります。海外インターンシップやワークアンドスタディ、各研究室でのイベント等、是非、自分から多くのことに興味関心を持ち、多くの経験をしてください。

乗船実習など、他ではできない経験ができるということも、海洋大学の特徴です。決して楽なものではありませんが、そこで経験したことは、就職活動を始め、その後の学生生活に非常に大きな影響を与えます。また、そこで苦楽を共にした仲間は、一生の付き合いのできる仲間であると、僕は思います。

皆さん重々お分かりになると思いますが、学生生活というものは一瞬で過ぎ去ってしまいます。悔いのないよう、全力で海洋大生を生きてください。



海外インターンシップ@フィリピン、筆者一番右

新入生の皆さんへ

海洋工学部 海洋電子機械工学科4年

吉良 千亜季

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

今年度は新型コロナウイルスの関係で対面講義、遠隔講義がまざり戸惑うことも多かったと思います。

思い描いていた大学生活を送ることができず歯がゆい気持ちの方もいるかと思いますが、希望を捨てず、前を向いて一緒に頑張りましょう。

さて、そんな皆さんに私からいくつかアドバイスがあります。

まず、振り返った時に悔いのない学生生活を送ってください。4年間は長いようであつという間に過ぎてしまします。自分がやりたいと思ったこと、興味のあることは積極的に取り組んでください。大学は、今までの学生生活と違い自分から得ようとすれば、様々な情報を得ることができます。逆に、自分から学ぼうとしなければ、誰も教えてくれません。疑問に思うことがあれば、ぜひ先生方に質問に行くことをお勧めします。次に、人脈を広げてください。学科内で仲良くなることはもちろん、他学科、他学部、先輩色々な方と交流を深めてください。様々な価値観に触れ、視野や興味の幅が広がることでしょう。さらに、学内だけでなくアルバイト等で交流の輪を広げてみましょう。一つのコミュニティに拘り過ぎず、いくつかのコミュニティに属することで得られることも多いと思います。

最後に、大学生活でたくさんの思い出を作ってください。大変なことが多い分、楽しいことも沢山あります。皆さんの大学生活が実りのあるものになることを願っています。



新入生の皆さんへ

海洋工学部 流通情報工学科4年

松井 晶子

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。はじめまして、流通情報工学科4年の松井晶子です。大学生としての新生活に慣れたでしょうか。コロナ禍のため、友達となかなか会えなかったり、部活動やサークル活動が思うようにできなかったりと、不安を感じている方もいるかもしれません。でも、今できることを一つずつ取り組むことが、重要だと思います。今はとても大変な時期ですが、きっと明るい未来が待っているはずですよ。

私は3年前の4月に兵庫県から上京しました。東京は人が多く、駅も複雑で、大都会は怖いと思いました。高校では文系だったので、大学で初めて、専門的な理系科目を学ぶことになり、不安でいっぱいでした。しかし、つらい時は友達が支えてくれました。授業は少し大変でした。でも、本学科では専門的な物流の知識やスキルを身に着けることができます。就職活動を通して、この実学の重要性を改めて感じました。

私はアルバイトに多くの時間を使った時期もありました。今思うと、資格の勉強・部活動・趣味にもう少し時間を使っても良かったかなと思います。大学生活は長いようで短いと思います。学生時代にやりたいことをしっかりと決めて、行動してください。でも、もし焦って視野が狭くなりそうな時は、一度立ち止まって、ゆっくりするのも良いかもしれません。たまには、寄り道も良いと思います。ぜひ、学生生活を楽しんでください！



越中島キャンパスの桜の景色

悩める後輩の皆さんへ

海洋資源環境学部 海洋環境科学科3年

塚本 大

新入生の皆さん、こんにちは！今皆さんに向けてメッセージを考えていると、2年前に私が海洋大で学び始めた頃を思い出します。私は少し回り道をして本学に入学しましたが、当初は周囲との年齢差を意識することもありました。得てして人は些細な不安でよくよしてしまうものです。昨年退官された私の数学の先生は「一人がわからないなと思った問いは、同じ教室だけでも3、4人は抱えているものだ。だから自分だけがわかってないのかも臆せず質問しなさい。」と常々仰っていました。未知の世界に飛び出し、不安を一人で抱え込んでしまいがちな若者にとって、この考え方は重要だと思います。私は今でも新しい知り合いができる度にこの大学の多様性を実感します。でも十人十色の学生がいながら、授業で同じところがわからなかったり、似たような悩みを抱えていたりします。大学が始まってすぐ登校できなくなり、出鼻をくじかれた思いでしょう。こんな時だからこそ、もっと友達を見つけてみませんか。きっと相手も友達が欲しいはずです。新歓の予定が終わっても、サークルの先輩方は喜んで受け入れてくださると思います。決して一人で悩むことはありませんし、友達作りにタイミングなんてありません。私は最近になって新しくサークルに入りましたが、そこでできた友達と楽しくやれています。昨今の困難な状況で受験を乗り越えた皆さんを私は尊敬しています。仲間と励ましあい、チャレンジャー精神を抱き続けてください！



新入生の皆さんへ

海洋資源環境学部 海洋資源エネルギー学科4年

加納 翼

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。コロナ禍ということで想像していたものとはギャップがあるかもしれませんが、大学生活には慣れましたか？環境が一変する中で不安なこともあるかと思いますが、共に頑張りましょう。

私も今年4月から4年となり、研究室に所属し環境が大きく変わりました。

魚群探知機を用いた水中音響について学んでおり、月1回程度の調査航海に参加しつつ、先生・先輩方に助けられながら日々頑張っています。皆さんはこんな勉強がしたい、大学生活がしたいという思いを持って入学されたでしょうか。このご時世自宅にいる時間も多と思います。ぜひ興味のあることになんでもチャレンジしてみて、何か得られればと思います。

コロナ禍の中ではありますが、皆さんは部活・サークルの活動などは行えていますか？私は、3年まで海鷹祭実行委員会に所属し、その中の部署の一つでありマグロ解体ショーの運営を行う「食品企画部」で部長を務めていました。部長を務めた第61回は残念ながら中止となってしまいましたが、友人もでき楽しい生活を送れたと思います。今はオンラインで顔合わせも大変かと思いますが、部活・サークルはあなたの大学生活をきっと楽しいものにしてくれます。ぜひ、興味のある団体に顔を出してみてください。

最後になりますが、海洋大では海のプロフェッショナルともいえる先生方、先輩方、そして多くの同級生が待っています。切磋琢磨しながら、ぜひ意義のある大学生活を送ってください。厳しい状況に立たされながらも頑張る皆さんを陰ながら応援しています。



写真は1年の頃(2019年)に海鷹祭実行委員会メンバーで四国一周旅行をした時のもの(筆者は右から2番目)。



新たな環境と向き合うみなさんへ

品川キャンパス自治委員会委員長
海洋生命科学部食品生産科学科3年

川野桃子

新入生のみなさん、この度はご入学おめでとうございます。入学して数ヶ月が経ちますが、大学生活はいかがでしょう？想像通りだったこと、そうでなかったこと、それぞれありますよね。特に今年度は昨年度に続き例年とは異なる点が多々出てくるでしょう。自治委員会としても、例年1日で行っていた自治会説明会と公認サークルの紹介を、今年は感染症対策を施しながら約1週間に分けて開催させていただきました。初めての試みであったため、みなさんの中には戸惑いを感じた方もいたと思いますが、参加して下さった方、ありがとうございました。

今後も例年通りにいかないことが多々出てくると考えます。ただ、その中でも各サークルは試行錯誤をしながら活動をしております。初めて聞く方もいるかもしれませんが、昨年3月からサークルは課外活動を自粛し、対面活動が出来るようになったのは昨年10月になります。そこから半年以上経ち、また対面活動が自粛になりましたが、各サークルが新たな活動形式に慣れてきた頃と考えられます。是非、サークルに所属する際は新しい活動内容にも注目してみてください。また、既に所属している方には、その活動形式を楽しんで欲しいです。

さて、みなさんの中には、サークル活動に限らず目まぐるしく変わるこの状況について行くことが大変に感じる方もいるのではないのでしょうか。しかし、この状況下で受験を乗り越えてきたみなさんなら、きっとこの大学生活にも適応していけると考えます。是非、充実した学校生活を送って下さい。

充実したキャンパスライフを送るために

海鷹祭実行委員会委員長 海洋資源環境学部 海洋環境科学科3年
高橋宏知

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。厳しい大学入試を乗り越え、ひとまず安心しているかと思えます。私からは大学での4年間の過ごし方と友人関係について、学部3年として私の考えを皆さんにお伝えしようと思えます。

大学での4年間は新しいことに挑戦する場とするのが良いと思います。採集活動や楽器、地域のボランティアといった趣味や、専門科目か総合科目かを問わず講義で教わったことを図書館を利用して深く掘り下げる、等です。折角大学受験という、悪く言えば縛りのある勉強から解放されたのですから、様々な方向に見識を深めるいい機会だと捉えて学部での4年間を過ごしていただければと思います。それに加え、趣味は生活を豊かにしてくれます。しかし、このコロナ禍ではアクティビティが制限されがちです。コロナ禍に適した新たな趣味を模索してみるのも良いかと思えます。

最後に、学友は大事にしましょう。大学に入ってきた理由は様々だと思いますが、同じキャンパスで学ぶ仲間です。進路や履修計画、生活のこと等の相談をお互いに出来ますし、友人に刺激されて始める活動もあるでしょう。交友関係は皆さんの大学生活を充実したものにするのに大事な要素だと思います。とはいえ、友人とキャンパスで顔を合わせたり、サークルで共に活動するといったこともやりにくい世の中です。だからこそ、友人とのつながりをより大事にしてください。文面も残り少なくなって参りましたのでこのあたりで失礼させていただきます。皆様充実した大学生生活をお送りください。



新入生の皆さんへ

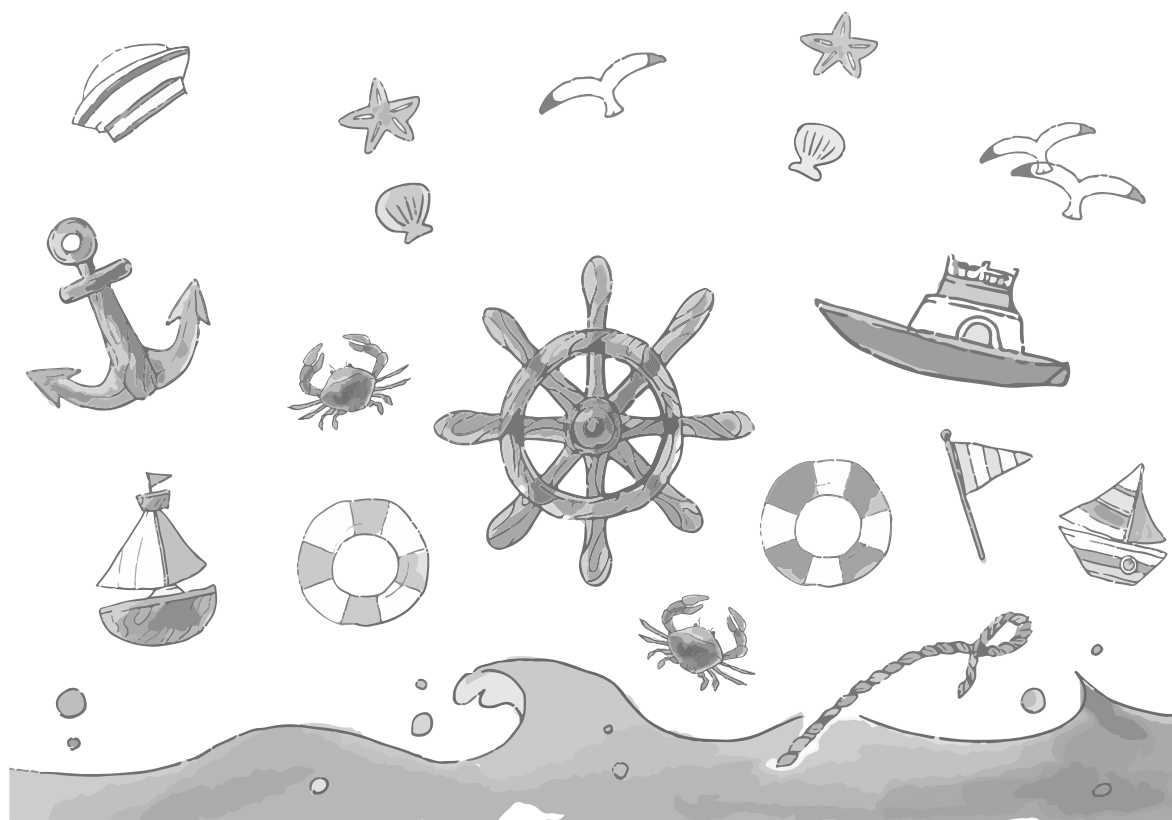
海洋工学部学生会事務局長 海洋工学部 海洋電子機械工学科4年
柿原 功宗

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。上級生として皆さんのご入学を心より歓迎申し上げます。依然、コロナ禍の生活で油断ならない状況が続いています。このような状況の中で、皆さんは高校から大学という全く違う環境にいきなり身を置くことになり、とても大変な世代だと思います。自宅での活動が多く気が滅入ることも多くあると思いますが、皆さんが入学する時に抱いていた目標や気持ちを忘れずに、学生生活を過ごしていただければ幸いです。

大学生活は今までの高校生活とはガラリと変わります。まずは講義です。高校までは決められた授業を受けていました。大学では1年生は必修が多く、なかなか自由に講義を決められないですが、2年、3年と上がる

につれて自由に講義が決められるようになり、将来目指している業界、目標がある方はそれに沿った講義を受講すると良いでしょう。特に目指したい業界がない方は分野にこだわらず様々な講義を受講してみてください。講義以外にもこの大学には実験や海洋実習など他の大学では経験できない特殊な経験を積むことが出来ます。様々な経験を積むことでその中からきっと目指したいものが見つかるでしょう。

また、学年が上がるにつれて時間に余裕が出来てきます。その時間をどう使うかも皆さん次第です。勉強や課題をしたり、部活やサークルに所属したり、バイトをしてもいいですし、趣味にあてても良いですね。ダラダラ過ごすのもありですね。と、本当に講義以外は自由な時間がありますので有意義に過ごしてください。最後になりますが、これからの4年間を楽しく過ごせるように心よりお祈り申し上げます。



2021年 出会い

入学特集

先輩留学生から 新入生のみなさんへ

先へ!先へ!

海洋生命科学部 海洋生物資源学科4年

黄 馨 田

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

海洋生命科学部海洋生物資源学科4年の黄馨田です。入学してしばらく経ちましたが、大学生活には慣れたでしょうか?私は入学当初、戸惑うことばかりで、先生方や先輩方から多くのアドバイスを貰いました。

そこで、私が先輩留学生としてのアドバイスは、日本語が上手じゃなくても、恥ずかしがらず積極的に日本人学生や他国の留学生に話し掛けることです。今の時代は便利で、スマホを使えば分からない単語を調べることができますし、片言しか話せなくてもジェスチャーなどを加えて話せば、内容がなんとなく伝わるはずで。私は1年生や2年生の頃、日本語の授業を通して韓国や台湾からの留学生たちと仲良くなり、彼らの故郷の郷土料理を食べたり、一緒に夏祭りや盆踊りに行って日本の伝統文化を体験したりしました。

他国の学生と交流することによって、異なる国・地域の文化について知ることができ、視野も広げられると思います。これからはグローバル化・多様性が求められる時代です。異なる国の人々の思想を受け入れ、相違があることを認めた上で、共通点を求める柔軟な考え方が重要視されるでしょう。海洋大には様々な国からの留学生がいますので、大学にいる間、是非たくさん異文化コミュニケーションを体験してください。

現在、新型コロナウイルスの影響で大変な時期ではありますが、これから皆さんが充実したキャンパスライフを過ごせるよう心から祈っております。



ニューヨークにて



先輩留学生から新入生へ

大学院海洋科学技術研究科 応用環境システム学専攻3年

Htoo Nay Wunn

Hello, I am Htoo Nay Wunn, a graduate doctoral student studying in the course of Applied Marine Environmental Studies in the Graduate School of Marine Science and Technology. Currently, I am conducting a research concerning a wet solar cell which is composed of titanium dioxide and copper oxides electrode. I am from Myanmar and have been here for more than five years since I came as a research student.

TUMSAT has two main campuses: namely the Etchujima campus and the Shinagawa. Both campuses have the same feature. Each of them is located near a very populated area but the campus itself is quiet. You can see many skyscrapers from your campus. There is a river near each campus and many boats running in it. It is like a small haven surrounded by the modern world. So, you can feel nostalgic while studying your research.

TUMSAT is a small university but stands a leading role in the maritime and fisheries industries. It has once ranked one of the top 20 small universities in the world. It has given births to many technicians, professionals, and businessmen over its several decades history. It has a lot of research studies, but not limited to

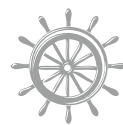
those, relating to maritime logistics, renewable energy, maritime artificial intelligence, coastal management, and fisheries. If your dream is to become a professional in those areas, I am sure you have made the right decision for choosing TUMSAT. Welcome to TUMSAT! Courtesy to me.



The street in front of my research building during winter



学科の特色ある実習の紹介



海洋生物資源学科

海洋生物資源学部門 准教授

矢澤良輔

海洋生物資源学科は、海洋（沿岸から沖合、深海）に加え、河川や湖沼といった水圏に生きる生物を対象として、生態系のなかでの多様性を保全しつつ、これら生物を持続的に利用していくための海洋生物学、生命科学、資源生物学について幅広く学べる学科です。微生物から、藻類、カニ、エビ、タコや魚類等、あらゆる水圏生物を対象とし、遺伝子、細胞、個体レベルから個体群、そして生態系レベルまでをカバーした講義が用意されています。水圏生物を単に知るだけでなく、その育て方、増やし方や獲り方に加え、管理、利用の仕方をも視野に入れた水圏生物の基礎と応用について総合的に理解し、科学するための学科です。

本学科の大きな特長は、実体験を通じて授業内容がよ

り理解できるように、多彩な実験・実習カリキュラムをもつ点です。冷水・温水池での魚の養殖や育種、病気の实習、魚介類の遺伝子・ゲノム解析実験、藻類の生理・生態実習、種苗放流や資源の解析を目的とした演習・実習、磯での生物採集や潜水調査実習、漁業科学実習や練習船による乗船漁業実習など魅力にあふれた授業科目が多く組まれています。これらの実習は、臨海フィールドの館山ステーション、そして陸水域フィールドの大泉ステーション、吉田ステーションで実施されます。

残念ながら、このコロナ禍で多くの実験・実習はこれまでのように実施できない状況が続いています。顕微鏡でしか見えないものを見たり、潮風や波を感じながら網を曳いたり、冷たい水の中で魚を捕まえるような経験は何ものにも代え難いですが、これまでの実験・実習と同じように感動が得られる工夫をできる限りしていきますので、皆さんも想像力をもって望んでもらえれば、と思います。



ECDIS演習

海事システム工学部門 教授

竹本孝弘

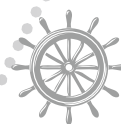
航海士や機関士として船舶に乗り組むには、乗り組む船舶の大きさや機関出力、航行海域に応じて定められた乗船履歴と学科試験(筆記及び口述)に合格して海技士資格を取得する必要があります。海洋工学部の海事システム工学と海洋電子機械工学は国土交通省の船舶職員養成施設に登録されており、資格取得に必要な講義や実験演習を履修し、練習船で1年間の実習訓練を修了した後、口述試験に合格すると三級海技士の資格を取得することができます。一方で、現在の船舶は高度化、専門化が進み、海技士資格だけでは実際の船舶に乗り組むことができなくなっています。最近では、外航船に電子海図情報表示装置(ECDIS)の搭載が義務化され、ECDIS搭載船に乗り組む船長・航海士には航海の安全のためにECDISを使用する能力が求められ、その証明が必要となりました。そのため海事シス

テム工学科では4年次の実験演習で国土交通省の基準に従って、40時間のECDIS演習を実施しています。

ECDISとは、電子化された海図(電子海図)上に自船の位置とコースラインを表示して、航路からの離脱や次の変針点の方向や距離を航海士に知らせるだけでなく、船舶が設定したコースライン上を自動で航行するトラッキングの機能も有しています。また周囲の物標や船舶を監視して、危険な状況になる前にアラートを発生させ、航海士に注意を促します。これまで航海士は紙海図にコースラインを記入し、船位をプロットして次の進路を決めていましたが、ECDISが登場してからは航海士の航海業務のほとんどをECDISが補佐してくれるようになりました。しかしECDISがあまりに便利な航海計器であるがゆえに、頼り切ってしまうと本来の航海の基本である目視による見張りがおろそかとなり、海難が発生するようになりました。ECDIS演習では船長や航海士の経験を持つ教員がインストラクターとなり、ECDISを中心とした安全な航海達成のための様々な知識や技術を習得します。



実習感想記



実習感想記

海洋生命科学部 海洋生物資源学科4年

齋藤 亨一朗

皆さん始めまして。ご入学おめでとうございます。これまでとした挨拶は抜きにして、私が履修した実習について早速紹介していきたいと思います。

私が履修した中で、一番印象深かったのは「水族養殖・育種学実習Ⅰ」という実習です。3年次に履修したのですが、その時には既に新型コロナウイルス感染症の措置がとられていて、規模が縮小されました。具体的には、本来、大泉ステーションで宿泊して数日にわたり行われる予定だったものが、オンデマンド講義と、品川キャンパスでの1日の実習にまとめて行われることとなり、できることがとても少なくなりました。

しかし、この時、初めてニジマスの人工授精を体験した私は、とても感動して、規模が縮小されたことは少しも気になりませんでした。特に、自分の手で卵を搾り出したり、その卵の様子を観察したりしたことは心躍る経験でした。

実際に魚に触れて学ぶことができる実習は、本当に有意義なものです。実習の規模が縮小されるようになって、なおさらそう思います。

海洋大では、1年生から3年生まで、他にもたくさん魅力的な実習が受けられます。このような文面は、海洋大について調べて入学してきた人からしたら、耳にたこができるものかもしれませんね。実習を楽しみに入学した方も多いのではないのでしょうか。



卵の性状を確認する様子

ところが、現在の状況では、実習が従来通りにできず、縮小版になることも大いにあり得ることです。実際に規模の縮小が決まったこともあるのではないのでしょうか。

今後も、想定していたように実習ができなくなってしまうことも多いかと思います。どうか、皆さんが気を落とさずに、できる範囲で実習を楽しんでいけることを願っています。私事で恐縮ですが、縮小版の実習も楽しかったということをお伝えしておきます。

実習感想記

海洋生命科学部 食品生産科学科3年

福田 彩乃

食品生産科学科では、1年次にフレッシュマンセミナーとして、山梨県の大泉ステーションで2泊3日の実習を行います。ニジマスを取り扱い、燻製として加工するのがこの実習の主な内容です。

実習で特に印象に残っていることは、ニジマスのつかみ取りです。低水位にした小さい飼育池で行うのですが、皆でニジマスを手で追いかけても足の間から簡単にすり抜けたり、一度つかみ取ってもニジマスが動き回って逃げたりと想像以上に大変でした。生きている魚を扱うのは難しいと実感した瞬間でした。

燻製に加工するときはニジマスを捌き、塩漬けなど



スモーカー内のニジマス

実習感想記

海洋工学部 海事システム工学科4年

鶴 巻 碧 衣

海洋工学部、海事と海洋の新入生へ。これが発行される7月は、1年生の乗船実習の直前かもしれないし、あるいは諸々の情勢で実習は中止になっているかもしれない。どちらに転んでも、1年生諸君のほとんどは経験したことのない生活を前に不安を感じているだろう。実習内容の紹介しかできないが、この記事がその不安解消の一助になればと思う。

一番の安心材料は、どの練習船に乗るにしろ、乗組員の皆さんは君たちが初心者だと思って対応してくれることだ。船特有の七面倒なルールや手続きは存在するが、緊急事態でもなければたいしては事前に説明があるし、わからないところは質問して構わない。B3rdやC3rdと呼ばれる役職の士官にはよくお世話になった。特にトイレが詰まったり電球が切れたりしたときに。

以前乗った船のキャプテンから聞いたことだが、実習はトラブルを体験するために行うものだという。例えばこれまで4回経験した乗船実習だが、最初に配られた一か月の予定表が変更されなかったことは一度もない。台風から逃げることになったり、最近だとコロナウイルス感染拡大防止のための入港規制で目的地が変わることもあった。重要なことは、これらのトラブルに実習生が対処する必要はないということだ。乗組員たちプロがどのように対処していくのかを見聞きすることが、自分の財産になる。報連相に力を入れるとその機会が増えたりもする。安全に気をつけて、よい実習生活を送ってほしい。



の下処理を行い、燻製したニジマスを包装する、という一連の工程を経験することができます。単純な作業も多いですが、普段は目にすることができない燻製や真空包装の機械を見ることができ、完成したときには達成感を得ることができます。実際に加工した燻製は持ち帰ることができるのですが、本当においしいです。

この実習によって、魚や水産加工品に対する理解を深めることができ、その後の学習意欲の向上につながったと思います。また、先に行うクルージングを含め、フレッシュマンセミナーは学科内の親交を深める機会としても非常に有意義であり、私にとってこの実習は大学生生活の大事な思い出のひとつです。

実習体験記

海洋生命科学部 海洋政策文化学科3年

漸 井 彩 乃

海洋政策文化学科では、海洋政策演習や水産調査、資源生物学実験、マリンスポーツ実習など、海と人と生物に関わる幅広い分野に関わる実験・実習や演習を行っています。今まで、私が履修したユニークな実習を紹介したいと思います。まずは、1年生の前期にある魚食文化論です。この授業では、魚食にまつわるお話を政策の先生を中心にお聞きすることができます。最後の実習では、みんなで魚を捌き、喫食するというのが大人気で他学科の学生も受講に来ているほどです。もちろん、最後の実習だけでなく、講義ではゲストスピーカーの体験を交えた興味深いお話、エビの食べ比べ、塩釜焼などの試食もでき、講義を受けるたびに魚食が好きになっていきます。

次に、1年生の後期にある水圏環境教育学です。この講義では、教育について概念から考え、自分はどうすべきかを考えさせられる講義です。私たちの生活には欠かせない水産資源の存在する水圏環境がどれだけ重要なのか、それを多くの人に伝えるためにはやはり教育は重要だと感じさせられます。水圏環境教育学の講義では座学だけでなく、海洋大近くのプラリバ（こども中高生プラザ）で小学生を対象に環境教育を行う実習も行います。教育の難しさを感じることもありますが、それ以上に子供たちが興味を持って食いついてきてくれる姿を見るのはとても達成感を得られ、準備の大変さを忘れてしまうほどです。

このように政策学科の講義は幅広い分野で海に関わり、自分の行動次第で興味関心を広げることができると思います。

実習感想記

海洋工学部 海洋電子機械工学科4年

坂本 瑛 昭

海洋電子機械工学科では、3年生までは毎年1ヶ月ずつ乗船実習が実施されます。これらの実習は必修であるため、船乗りを目指している人も、そうでない人も必ず参加しなければいけません。後者からすれば、この実習は面倒くさいだけかもしれませんが、練習船に乗ることができる貴重な機会なので、ぜひ積極的に取り組んでみてください。

1年生は機関と航海、2年生以降は機関のみについて、実際に船を動かしながら実習を行います。航海当直、配管調査や機器の操作・分解実習など船でしか行えない実習もあり、文献を読むだけでは理解できないことも学ぶことができました。初めて船に乗ったとき、私は船舶に関する知識は全く持っていませんでしたが、これらの実習を通して少しずつ身に付けることができましたと思います。

船内生活については、携帯の電波が届きにくいことを除けば、普段とほぼ同じ生活を送ることができ、非常に快適でした。船に乗っている間は常に実習を行っている訳ではなく、自由時間もあり、電波の通じていないスマートフォンを眺めたり、友人達とトランプで遊んだりと楽しく過ごすことができました。

実習に参加する前は、1ヶ月間も船に乗ることに不安を感じていました。しかし、実際に乗船してみると、毎日がとても充実しており、あっという間に1ヶ月が経っていました。コロナウイルスの影響で今年の実習がどうなるのかまだ分かりませんが、次の3ヶ月間の乗船実習が待ち遠しいです。



日本丸にて 筆者左

汐路丸乗船実習

海洋工学部 流通情報工学科3年

山田 有 紗

今年度は4月15日と22日、2つのグループに分かれて汐路丸乗船実習を行いました。新型コロナウイルスの影響で、二泊三日ではなく、日帰りでの乗船実習になってしまいましたが、汐路丸への乗船は1年生以来だったので、ずっと楽しみにしていました。

今回の実習の目的は、実際の船員業務を体験することでした。班に分かれ、喫水の計測や、船橋で航海当直を行いました。実際に舵を取ることもできました。船の操縦という貴重な体験ができ、とても感動しました。船が右に傾くと、私は左に舵を取りたくなったのですが、実は右に舵を取らないと、バランスがとれません。

さらに、その後、船体を戻すことができれば、左に舵を切り替えて、ハンドルのメモリが0になるように維持することでルートを保ちます。船の操縦中は、見なくてはならないメーターも多く、他の船員たちと位置を確認しながら「右に〇〇」「そのまま進め」など声を掛け合っており、船員みんなで一つの船を操縦していることを感じました。

また、常に3方向への揺れがあり、船舶の揺れに配慮し、貨物の配置をきちんと考えることの重要性を実感できました。自由時間には、船の船首や船尾、機関室などを見て回ることができ、普段見ることのできない船の内部まで見学することができました。

1日という短い間でしたが、多くの貴重な体験をすることができ、知識だけでなく、とても良い思い出になりました。



実習の様子

実習感想記

海洋資源環境学部 海洋環境科学科3年

伏見 理子

私は、海洋環境科学科の2年次に開講される「海洋学実習1」に参加しました。例年ならば7～8月の5日間で、海洋観測の基盤となる測定機器の動作原理の理解、現場観測による海洋環境の調査、得られたデータを用いて作図や解析などを行い海洋における物理生物化学過程を学ぶプログラムでした。しかし、2020年度はコロナウイルスの影響で12月に日帰りでの実習とオンラインでのグループ発表へ変更されました。

短い実習となってしまいましたが、CTD採水器での採水とクロロフィルa濃度の分布調査、NORPACネットでのプランクトン採取と顕微鏡観察、クロロフィルaの抽出及び蛍光光度計を用いた定量など実習の目的となる海洋観測の基礎的な部分をしっかり学ぶことができました。そして、なぜこのような観測データが得られたのか考え、発展的な事柄に結び付けていくことが研究の一歩になると感じました。実際に私たちの班では、観測で得られたクロロフィルaの鉛直分布が予想とかなり異なる値であり帰船後班でその理由を考えることに苦戦しました。

まだコロナウイルスの影響で海洋学実習2がどのように実施されるか不明ですが、学んだ実践的な経験を生かして短い時間でも充実した実習にしたいと思います。また、実習1では効率的なNORPACネットの生物採取ができなかったり、必要な長靴を持って行かなかったり、海色が生息するプランクトンによってどう変わるかの質問に答えることができなかったりしたことが記憶に残っているので挽回したいです。



実習の様子

実習感想記

海洋科学専攻科 海洋船舶運航システム学専攻1年

幅口 美月

東京海洋大学では、ここでしかできない実習が多く用意されています。中でも、特に挑戦して欲しいと思うのは、海洋資源環境キャリア実習Ⅰです。この実習は約2週間、海外の企業や研究機関を訪問し、最新の研究内容や取り組みについて学ぶものです。

私は英語が苦手で、TOEICのスコアも600点をぎりぎり超えたレベルでした。おそらく、これを読んでいる皆さんの方が、スコアが高いのではないのでしょうか。それでも、ノルウェーの企業や大学を見学してみたい、これを逃せば一生行くことはないと思い、軽い気持ちで参加しました。

研究内容など、完全に理解することはできませんでしたが、面白い内容が多かったです。二酸化炭素を海底に埋める“Northern Light Project”や、船舶交通を妨げないようにフィヨルドを南北に横断する“under sea tunnel”実現のための研究など、海洋大生ならわくわくするような内容が盛りだくさんでした。

また、自由時間もあり、水族館や美術館を巡ることができました。特に、ヨーロッパの水族館は海ごみの問題を大きく取り上げ、来館者に考えさせるような展示を行っていたり、Ocean forestについてわかりやすく解説していたりと、海の問題について積極的に発信していました。ヨーロッパの方々の方々の海への関心の強さに驚きました。街中でこのような発見があるのも、この実習ならではの発見だと思います。

軽い気持ちで参加した実習でしたが、想像以上の経験を得ることができました。百聞は一見に如かずです。ぜひ、参加してみてください。



ノルウェーにて

資格取得に向けて



資格取得に向けて

海洋生命科学部 食品生産科学科4年

高橋 あゆみ

教育職員免許は、教師として教壇に立つために必要な資格です。海洋大では、学部・学科によって異なりますが、必要な単位を取得することで中学校・高等学校の教育職員免許（理科・水産・商船・工業）を取得することができます。私は理科の教員免許を目指し、そのための授業に取り組んでいます。

私が教員免許を取得しようと思ったきっかけは、高校の担任の先生に非常に支えていただいたため、そのような先生になりたいと感じたことでした。ですが、教職課程では卒業に必要な授業、実験を履修しながら教員免許取得に必要な授業を履修しなければならない上、学科の授業と被ってしまいどうしても低年次履修が困難な授業もありました。そのため、教員免許取得に必要な壁は想像よりも高かったです。

しかし、教職科目では学校の先生がどのようなことを考えながら授業を行い、学級運営をしているのか、分かりやすい授業のために必要なことは何か等について学ぶことができました。これまで生徒の側からしか見てこなかった「学校の先生」について新しい視点から見れたことは、今後の人生で糧になると考えています。また、教職科目は他の学生と協力して行う授業が多く、様々な学年、学科の人と関わることができました。それにより、これまでの交友関係とは異なった友達もでき、様々な話を聞く機会や経験が得られました。

私は来週から教育実習に行きます。教育実習では、教職科目など、大学で学んだ様々なことを活かしたいと考えています。



写真左が筆者

水産専攻科と海技士

大学院海洋科学技術研究科 海洋資源環境学専攻2年

岩佐 晃

突然ですが、皆さんは水産専攻科というものを存じでしょうか。私が一昨年在籍していた水産専攻科は、海洋生命科学部・海洋科学部を卒業した人向けに本学に設置されている、1年間の課程のことです（現在は海洋科学専攻科）。学部を卒業してから進学するので、イメージとしては大学5年生といったところです。在籍中は、最初の半年は座学で知識を身に付け、後半の6か月に乗船実習があります。乗船実習では、マグロはえ縄漁や、南極海での調査などがあり、なかなかボリュームのある実習となっています。修了すると、口述試験や身体試験を経て、3級海技士（航海）の資格を取得することができます。所属している学生のほとんどが、この資格の取得が目的です。しかし、実は私の目的は、資格取得が半分、もう半分は、長期の乗船生活や、マグロ漁、そして何より、南極海を体験してみたいというものでした。結果的には船乗りへの就職ではなく、大学院への進学を選びましたが、本当にたくさんのことを経験できたので、全く後悔はありません。資格の取得というのは、その道について詳しく知ることです。海に関する職に就いたり、研究をしたりする場合、この経験が必ず生きてくると思います。現在海洋生命科学部・海洋科学部に在籍する学生の皆さん、たとえ、船乗りにならないとしても、水産専攻科に進学し、一生に一度しか経験できないような1年を過ごすというのはいかがでしょう。



大学院で学べること



海洋システム工学専攻

海洋電子機械工学部門 教授

田中 健太郎

大学院で何を学べるのか…、とにもかくにも大学院は研究を行う場所です。何かを“学ぶ”ことが主役ではありません。当然、研究を進めるために新たな学びは必要です。はじめのうちは、先生から何を学ぶべきかを指導してもらえそうですが、学ぶべきことを自ら見いだせるようになりたいものです。

修士の場合は2年間、博士課程まで進めばさらに3年間、自分の好きな研究に没頭するために、わざわざ授業料を支払って（学部で卒業して企業に勤めていたら得られるはずだった給料も考えると大変な金額です）進学する大学院です。指導の先生に遠慮などすることなく、その研究手法を学び、議論し、そして自らのアイデアを試せるだけ試す…、そんな研究者の醍醐味を是非味わいましょう。

大学院では、学会発表や論文の執筆を通して、自分の研究成果を世に問う機会が与えられるはずですが、みなさんが小学1年生のときから永々と学び続けてきた、国語の出番です。自分の研究内容を、他人に理解してもらえるように話し、書くのです。

学会発表では、他大学の先生や企業の研究者など、その道のプロたちの前で、自分の研究について発表します。決められた時間内で、自分の研究成果、主張やアイデアを他人に理解してもらえよう、発表スライドを準備し、話をする練習をします。卒業研究の発表会でも、それなりの準備をして臨むと思いますが、学会発表は、その比ではありません。なにせ、もしかしたら発表内容について、発表者である自分よりも遥かに詳しい人達の前で話すことになるかもしれないのです。

ところで、もう一昔前になってしまいましたが、私は大学院生の頃、非常にあがり症で、人前で話すのがとても苦手でした。初めての学会発表のために、15分間の発表時間で話すことを、一言一句すべて原稿に

して丸暗記したこと、想定問答集を作っけていかなる質問に答えられるように準備したことを懐かしく思い出します。国際会議で初めての英語による研究発表をしたときなんて、それはもう大変な時間をかけて準備をしました。今ではすっかり緊張しなくなり、それなりの準備でそれなりの発表ができるようになりました。しかし、発表自体は当時のほうが上手だったように思います。

また学会発表の多くでは、講演論文集、予稿集、proceedingsなどと呼ばれる印刷物が発行されます。最近はそのほとんどが電子的に発行されており、学会発表が終わった後でも、いつまでも検索に引っかかり、学会によっては全文が公開されます。いい加減な文章を残すわけにはいきません。指導の先生によると思いますが、非常に丁寧に、そして厳しく添削をしてくれるはずですが、また博士課程や、修士課程でも研究が順調に進んだ場合には、学術論文誌への論文投稿を行なうことがあります。同じ分野の研究者に、出版の価値があると認めさせる必要があり、さらに大変な作業を行うことになります。

このような学会発表、論文執筆の経験を通じて得られる何かこそが大学院で学べることなのだと思います。そして、それはきっと社会に出てからも大変役に立つはずですが。



海洋システム工学専攻(博士前期課程)

海洋電子機械工学部門 教授

清水悦郎

人々の生活の基本となる経済活動を継続するためには、様々な開発とよばれる事業が必要となります。しかし現代社会においては何も考えずに開発して良いというわけではなく、持続可能性、環境保護、カーボンニュートラル化、省エネルギー化というような観点を考慮しつつ開発を進めること、Sustainable Development Goals (SDGs)、Environment・Social・Governance (ESG) を意識した活動が重要です。海洋システム工学専攻では、SDGs、ESGを踏まえた海洋人工物と海洋環境の調和という観点から全体を俯瞰し、そのうえで必要となる個々の要素技術に関して、日々、教育研究を行っています。

具体的には、本専攻は、動力システム工学、海洋機械工学、海洋サイバネティクス、海洋探査・利用工学の計4つの専攻分野で構成されています。動力システム工学では、主にターボ動力や内燃機関、電気動力など船舶や海上プラントで使用されるエネルギーシステムに関して、危機管理や環境負荷低減、省エネルギー化という観点も考慮したシステム化技術に関して教育研究を行っています。海洋機械工学では、高性能・高効率な海洋機械・機器の設計開発に不可欠な機械システムの強度等の特性評価、腐食環境下での性能・強度評価、熱・流体エネルギー変換と伝達、計算機シミュレーション手法やこれらの知識に基づく機械設計手法

等に関して教育研究を行っています。海洋サイバネティクスでは、船舶、海洋ロボット、海洋構造物等を対象に、設計開発をするだけでなく、安全性・快適性を保つ運用方法に関して、制御、情報、通信、電気・電子、機能性材料などの技術を駆使したサイバネティクスの観点から教育研究を行っています。海洋探査・利用工学は、国立研究開発法人海洋研究開発機構との連携講座であり、海中・海底の探査および作業のためのロボットやシステム技術、海中音響による測定技術、および浮体による波力発電、潮力発電等に関する教育研究を行っています。例えば海洋サイバネティクスに所属する私の研究室では、自動運航可能なゼロエミッション船舶による水上モビリティ・システムの実現を目指し、AIを活用した自動運航やゼロエミッション推進システムに関する技術的な研究開発を行う一方、効率的な運航を行うための運航支援システムの開発、船舶から発生する音の海洋環境への影響、社会実装するための法規制対応に関する検討も、他の研究室の協力も得ながら行っています。

このように海洋システム工学専攻では、いずれの専攻分野においても個々の要素技術だけでなく、幅広い視点からシステム全体を俯瞰して技術開発を進めるとともに、広く実社会で利用するために必要となる運用技術等も含めた教育研究を行っています。



遠隔操縦・電池推進船 らいちよう I

応用環境システム学専攻(博士後期課程)

大学院海洋科学技術研究科 応用環境システム学専攻2年

藤井 峻

・自分が学びたいことを学べる

大学院は卒業までに取得しなければならない単位数が学部比べてとても少ないです。その分、授業以外の研究に時間を使うこととなります。研究を行う場所である研究室は自分で選ぶことができます。自分で選んだ場所で、自分が興味のある分野を、時間をかけて学ぶことができます。さらに、研究室にいらっしゃる先生方はその道のプロフェッショナルです。自分が興味のある分野に関して、教えてほしいことは何でも教えてもらえます。こんなに恵まれている環境は人生で大学院時代以外ありません。

私の場合、外部の大学を卒業し、本学の博士前期課程に入学しました。本学を選んだのは、自分が興味があった海洋ロボットの研究を行う上で最も良い環境だと思ったからです。海洋ロボットの研究をされている先生がいらっしゃるのももちろん、実験設備や、海洋研究開発機構との連携大学院の制度があることに惹かれました。その後、博士前期課程を卒業し、会社員として2年間働き、本学の博士後期課程に入学しました。会社員を辞めて博士後期課程に入学したのは、自分が学びたいことを、若いうちにもっと学んでおきたいと思ったからです。

皆様方も、大学院に進学する際は、自分が学びたいと思うものを必ず見つけてください。それがなければ、大学院で学ぶ意味はありません。学びたいものが本学になれば、他大学に進学することも考えてください。

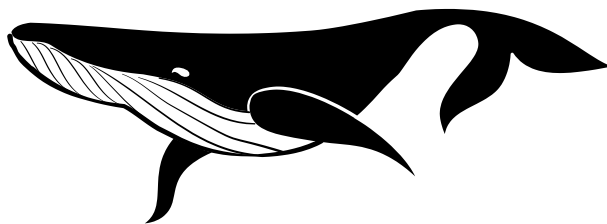
国内外問わず。長い人生で大学院という時間はごくわずかです。しかし、若いうちに自分が学びたいことに時間をかけられる瞬間は、大学院時代しかないと思います。

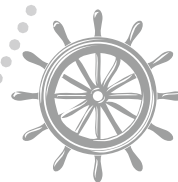
・人に説明する方法を学べる

大学院では、研究を通して人に説明する方法を学ぶことができます。研究で行き詰った際は、指導教員の先生に相談しに行きます。その際、自分がやりたいことは何か、問題になっていることは何かを伝えます。指導教員の先生の場合、その道のプロフェッショナルなので、多少言葉足らずでも理解してくれて、解決に導いてくれます。しかし、複数の分野にまたがる問題の場合、別の先生や、学外の研究者の方の力を借りる必要が出てきます。この際、指導教員の先生の時と同じような説明をしても、おそらく伝わりません。相手の方は、自分が普段何をしているかを知りませんし、自分がやっている研究分野の専門用語も分かりません。こういう場合、相手のことを調べ、その相手に伝わるような資料を準備して説明する必要があります。

人に説明する方法を知っておくと、社会に出ても大いに役立ちます。私は会社員時代にソフトウェア開発をしていました。開発したソフトウェアを納品する際には、顧客に説明する必要があります。この際、普段一緒に仕事をしている同僚や上司と話すときと同じ説明の仕方をしては伝わりません。顧客が理解できる資料を準備し、適切な言葉で説明する必要があります。

学部生の内も人に説明する機会はあると思いますが、大学院になるとその回数が一段と増えていきます。場数を踏むことで、人に説明する力が自然と向上していきます。





卒業論文・修士論文への 取り組み方

研究は一人で行うものではない

大学院海洋科学技術研究科 海洋管理政策学専攻1年

関 口 菜々子

緊急事態宣言が発令され、人と人とのつながりが途絶えた2020年4月。私の卒論研究は始まりました。

私は、各種報道で漁獲量減少が大々的に取り上げられ、身近な危機として捉えていた、北太平洋サンマの資源動態解析をテーマに卒論研究を行いました。コロナ禍で学校の立ち入りは制限されていましたが、私の在籍する研究室では、生物そのものではなくデータを対象に研究を行うため、学校へ行かずとも研究は可能でした。しかし、勝手の分からない“新人”では訳が違います。研究の進め方はおろか、セミナーの発表方法やプログラムの書き方も分からず、気軽に相談できる人も近くにいませんでした。それは研究室の同期生も同じでした。同期とは頻りにオンライン勉強会を行い、その中で知見を広め様々な刺激を受けました。週1-2回のオンラインのセミナーでは、先生や先輩方から助言を頂きブラッシュアップし、徐々に研究の楽しさを実感できるようになりました。さらに、毎年の漁獲枠などを決める国際会議にチームの一員として参加させて頂いた際にも、作業等を通じて吸収できることが数多くありました。これまで可能な限り自力で課題を解決しようとしてきた私にとって、研究を通して“つながり”を持つことは新鮮で、代え難い経験となりました。

研究は一人で行うものではない—奇しくも、物理的に距離があるコロナ禍での卒論研究であったからこそ、より実感できたように思います。社会の状況も含め、その環境下でしかできない経験もあるはずです。大学へ進学したからこそできる“卒業論文”という経験を楽

しんでください。



卒業論文への取り組み方

大学院海洋科学技術研究科 食品流通安全管理専攻1年

今 村 歩 美

私は『脱水シートを用いたマダラのフィレ流通に関する研究』というテーマで卒業論文に取り組みました。研究の目的は、環境負荷低減につながると考えられているフィレ流通がマダラの鮮度に及ぼす影響を明らかにし、フィレ流通の利点や実用可能性について総合的に検討することです。

私の所属する食品流通安全制御学研究室では環境微生物、鮮度、ヘルスフード、アレルギーの四チーム体制で、食の安全安心に対して様々なアプローチから研究を行っています。研究室内で様々な分野の研究に触れる機会があることは私にとっていい刺激となり、広い視野での思考を身に付けることができました。

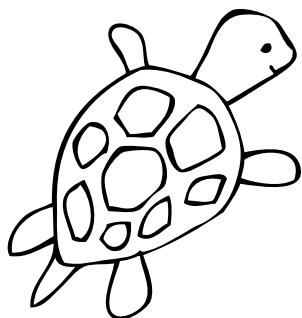
私がこれまでの研究室生活を通して卒業論文執筆に最も重要だと感じたことは、モチベーションの維持です。卒業論文は長期的かつ自主的に取り組む課題であり、研究の過程で心が折れそうになることもあったためです。モチベーションの維持に効果的だと感じたことは二つあります。一つは、周囲の人と協力体制を築くことです。卒論研究の中で行った鮮度実験では先生や企業の方、チームの先輩、そして同期から多くの協力を得ました。実験が行き詰まったときには相談にも乗っていただき、何度も救われました。そして感謝の気持ちを行動で返そうと、責任をもってより一層努力

することができました。もう一つは、どんな環境も楽しむことです。研究を行う上では、実験がうまくいかないことや、機械の不調などのトラブルが起こることがあります。特に昨年度は新規感染症流行の影響もあり、多くのイレギュラーな事態に直面しました。しかし、私はそこから学ぶことも多かったと感じています。残り二年間の研究室生活の中で、自ら試行錯誤して行動し、トラブルにも冷静に対応できる人間になることが今の目標です。

以上のように周囲の協力も得ながらどんな環境でも楽しみモチベーションを維持して卒業論文を書き上げることができました。現在、修士論文作成に向けて新たな課題に取り組んでいます。卒業論文作成で学んだことを活かして精一杯努力していきたいと思います。



筆者は右端



修士論文への取り組み方

大学院海洋科学技術研究科 応用環境システム学専攻1年

小林海斗

私の所属する情報通信工学研究室ではGPSなどの衛星測位の分野に関する研究を行っています。

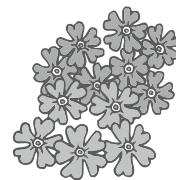
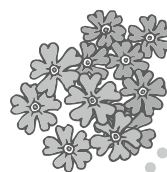
私は学位論文では精密測位のアルゴリズムについての研究を行いました。修士課程ではテーマを変更し、衛星測位の妨害への対抗手段について研究を行いました。特に偽の衛星信号を生成し真実とは異なる位置を測位させる「スプーフィング」という攻撃手段とその検知方法を研究しました。テーマを変更した理由は修士進学前に、紛争地域でスプーフィングが行われ沿岸を航行する多数の船舶が影響を受けた事件や、「Pokemon Go」などの位置情報ゲームのチート手段としてスプーフィングが使用されるなどがニュースになっており、自分でもスプーフィングを再現してみたいと思ったのがきっかけでした。

1年目はオープンソースのソフトウェアを改造してスプーフィング装置を作成してスプーフィング攻撃の原理について詳しく調査しました。スプーフィング対策はホットな話題であったため、外部の道路交通系のスプーフィング対策の勉強会への参加や、アンチスプーフィング受信機を開発しているメーカーへのインターンシップにも参加できました。研究室外部との関わりを持つことで、研究内容について現実的でストーリー性があることを心がけることができました。

2年目では2種類のスプーフィング攻撃を検知する手法を提案しました。そして、その手法を実際にスプーフィング攻撃を受けている状態で評価実験して修士論文としてまとめました。



卒業生より



業界で活躍している OB・OGの方々

飲料プラントを作っています

2018年3月 海洋工学部 海洋電子機械工学科卒業
2018年4月 岩井機械工業株式会社 入社

中尾 裕一郎

私は学部卒業後、岩井機械工業株式会社という飲料・乳業のプラントエンジニアリングメーカーに就職しました。私がこの会社に入社を決めるまでの経緯を説明します。私は高校生の時に船に興味を持ち、船関係の工学部を探して海洋大学に入学しました。船に興味を持ったきっかけはもう思い出せませんが、高校時代に友人と船型や機関の配置について楽しく議論したことが良い思い出となっています。大学の研究室は内燃機関工学研究室に所属し、就職も当然、造船やエンジンメーカーを希望していました。しかし就職活動は上手くいかず、進路に迷っている時にたまたま学内説明会で岩井機械と出会いました。調べてみると、飲料プラントというのも船の機関室に似たような雰囲気があると感じ、入社を決めました。

入社後、工場の現場監督をする部署に配属となり、飲料工場の施工に関わってきました。1年半経験したのち、昨年からは設備工事後の試運転調整をする部署に異動になりました。飲料の設備ですので、機器を洗浄する、指定の濃度で液体を混合する、所定の温度と時間で殺菌する、機器を殺菌しその状態を保つといった動作を自動でできるように調整していきます。殺菌不良や洗浄不良があると大問題ですので、正確な制御が必要です。制御の為にシーケンサー (PLC) を使い、各種工業計器やPIDなどの制御に関する知識、また殺菌条件などの食品に関する知識などなど、覚える

ことが多く勉強の毎日です。学生の頃考えていた仕事とは少し違いますが、やりがいのある良い職に就けたと思っています。岩井機械の名前はほとんどの人が知らないと思いますが、コンビニや自動販売機で売られている製品の大半に関わっています。私も某大手飲料メーカーの新工場立ち上げ試運転に関わりましたので、夏に新製品が流通するのを今から楽しみにしています。仕事を始めて感じたのは、大学で得た知識や経験がそのまま仕事に活かされたということです。例えば、大学の講義で流体力学や熱力学を学びます。私はプラントの設計はしていないので細かい計算はしませんが、「こうすればこうなるはずだ」というエンジニアの勘は、工学の理論に触れたから出てくる発想です。施工でも試運転でも、エンジニア的な思考・勘が重要になります。また、ポンプや熱交換器についての知識、実習で機械を分解した経験もそのまま実務に活かせました。そしてなにより一番良い影響があったのは、乗船実習での船内生活の経験です。プラント施工という工作上、多い時で年間300日近く出張することもありましたが、



船内での生活経験があった為何の苦も無く慣れることができました。乗船実習に比べれば、どんな出張生活も楽なものです。海に特化した大学ですが、海に関係無い仕事でも活かせる経験を多く積むことができます。せっかく特色のある大学に入学されたのですから、在校生の皆様にはできるかぎり多くを学び、経験していただきたいと思います。

最後に、社会人になるとお金はたくさん稼げますが、自由にできる時間はかなり少なくなります。自分のやりたい事、新しいことに手を出すのは難しくなりますので、多くの時間が使える大学生のうちいろいろな挑戦することをお勧めします。

行政官として働いて

2018年3月 海洋科学部海洋環境学科卒業
2019年3月 同大学水産専攻科修了
2019年4月 国土交通省入省
2021年4月 環境省へ出向

笠井 崇弘

私は現在、国家公務員として働いており、今年で3年目となります。大学では海洋環境学科応用情報システム工学研究室で卒業研究をご指導いただいた後、水産専攻科へ進学・修了し、国土交通省へ入省しました。本年、4月1日付けで環境省への出向を命じられ、現在は環境省に籍を移しています。これまで、国土交通省では中部地方の港湾、港湾に関する海洋・環境政策、洋上風力発電の導入促進に携わり、現在は環境省で街の暑さ対策や熱中症対策に携わっているところです。経験がまだまだ浅い若輩者ではございますが、楽しんで読んでもらえれば幸いです。

さて、皆さん省庁で働くとなるとどんなイメージをお持ちでしょうか。「なにをしているかイマイチよくわからない」「なんか大変そう」「安定してそう」等々あまり馴染みがないかもしれません。それもそのはずで、各府省庁はそれぞれ所管の行政を持ち、それぞれ内容は多岐にわたるため、働き方は多種多様です。しかし、やっていることは異なれども目指すところは同じで、日本がより良い国になるようそれぞれの省庁が日々努力をしています。そんな府省庁において、我々行政官は主に政策の企画立案や法案等の作成、国会関係、予算関係業務等に従事しています。

そもそも、私が行政官を志したきっかけは、まさに

海洋大での生活でした。サークルや水産専攻科で、日本の津々浦々、時には海外の港を訪ねる機会が非常に多くありました。そんなふらふらと日々を過ごしている中、だんだんと「いつか我が国が有する沿岸域の豊かな自然と産業競争力を支える沿岸域の持続可能な利用に貢献したい」と思い、結果的に行政官を志すようになりました。その後、縁あって国土交通省に採用され、今に至ります。正直申し上げると学部1年の時はまさか国土交通省・環境省で働いているとは夢にも思いませんでした。そんな私ですが、今では様々な課題解決へ向けて、日々業務に取り組んでおり、充実した毎日を過ごしています。時には疲れるときもありますが、やりがいを感じながら毎日楽しく働いています。余談ですが、役人と聞くとカタそうな人ばかりなイメージがありますが、気さくでラフな人が多く、職場の雰囲気は非常に良いです。

まともにはありませんがそろそろメないといけません。皆さんが当たり前のように過ごしている大学生活はとても貴重な経験の毎日です。当たり前話している先生が実はすごい先生だったり、実習で行っている内容が他では経験できないようなことだったり。そんな当たり前のように当たり前じゃない日々は一瞬で過ぎ去ってしまいます。まさに、光陰矢の如し、です。日々を大事にし、様々な世界に飛び込み、いろんな人と話してみてください。それはきっと今後の人生において代えがたい経験になると思います。長々と書いてしまいましたが、端的に申し上げますと「我が学生生活に悔いなし」と思えるような学生生活をお過ごしくださいということです。皆様のご活躍を期待しております。



オンライン会議の様子

新任教員の紹介



水圏生殖工学研究所 准教授

森田 哲朗

令和2年12月1日に水圏生殖工学研究所の准教授に着任した森田哲朗と申します。私は平成16年に本学で学位をいただき、その後16年間に渡り、民間企業の研究員として勤務してまいりました。この度、ご縁をいただき母校で働かせていただけることとなり、大変光栄に思っております。前職では、大分県佐伯市にある研究施設に勤務し、ブリやマグロ、スマといった魚類の養殖技術開発に携わりました。そこでは、親魚養成から種苗生産、海上生簀での育成、そして出荷まで、他ではえがたい経験を積むことができ、非常にやりがいを持って仕事をさせてもらっていました。これらと並行して、本学の吉崎先生との共同研究において、主にブリを対象として海産養殖魚における代理親魚技法の開発を行ってきました。

今後は、代理親魚技法をはじめとする生殖幹細胞操作技術の開発や高度化といった基盤研究に軸足を置きつつ、企業で培った知識と経験を融合して、社会実装を強く意識した研究活動を行っていきたいと思っています。具体的には、生殖幹細胞操作を駆使することで、これまで漁獲量が少ないために養殖できなかった美味しい魚たちを養殖できるようにしていきたいと思っています。自分たちの作った魚がお魚屋さんにならんと並んでいる、そんな日を目指して研究していきます。興味を持たれた方は、ぜひ一緒に研究に取り組みましょう。どうぞよろしく願いいたします。



海洋生物資源学部門 助教

小祝 敬一郎

2021年4月1日より海洋生物資源学部門（ゲノム科学研究室）の助教に着任した小祝敬一郎（こいわいけいいちろう）です。

みなさん最近魚を食べましたか？天然の魚が獲れなくなってきたという暗いニュースを聞くこともありますが、魚介類の養殖生産はここ20年増え続けており、食糧生産の重要な支えになっています。しかし、養殖場ではいわゆる“密”な状態で飼育がおこなわれるため、ひとたび病気が発生してしまうと被害がすぐに広がってしまいます。そこで私の所属する研究室では、病気を予防するための魚用ワクチンの開発や生体防御機能を向上させる飼料の研究に力を入れています。

また、私自身は学生時代からクルマエビの免疫システムの研究に取り組んでいます。エビを含む無脊椎動物の免疫システムは研究が発展途上で、わからないことだらけです。遺伝子配列解析技術や単一細胞解析技術など、最先端の分子生物学的技法を駆使して、自らの手で新しい知見を発見できるこの分野は非常にエキサイティングです。興味のある方はぜひ訪ねてきてくれると嬉しいです。

海洋大学は私の母校でもあります。このような形で本学に戻れることとなり、身が引き締まる思いです。国際的な視点を持ち自主的に行動できる高度な人材の輩出に向けて、教育活動に努めたいと思います。また、海洋大が有する豊富な飼育設備や研究施設を使い、未来の養殖に貢献できる研究を発展させていきたいです。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたしません。





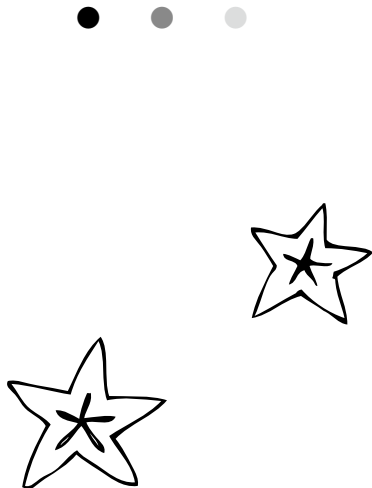
食品生産科学部門 准教授

Llave Perez Yvan Antonio
ラベ ペレス イヴァン アントニオ

令和3年4月学術研究院食品生産科学部門に着任しましたラベです。最初に私の経歴を簡単にご紹介致します。私はペルー出身です。ペルー国立ラ・モリーナ農業大学漁業学部水産加工学科を卒業しました。その後、ペルー水産研究所に入所し、制作主任およびジュニア研究員として働きました。その仕事はすり身工場やレトルト食品工場で様々な新製品を開発するもので、約9年間勤めました。しかし、その頃もっと勉強しないといけないと感じて留学することを決め、修士課程と博士課程の両方を東京海洋大学で修了しました。食品プロセス工学研究室で色々な事を学びました。その頃の研究テーマはレトルトパウチに充填されたカタクチイワシの熱処理のモデル化でした。

卒業してから、本学の食品熱操作工学研究室で博士研究員として4年間働きました。その後同じ研究室で日本学術振興会外国人特別研究員に選ばれたので、追加で2年間食品加熱技術とそのモデル化の研究を続けることができました。特に食品のマイクロ波加熱、高周波加熱、通電加熱、そして熱を使うことによってそれらの食品がどのような影響を受けたかについて研究を行いました。その後、平成30年4月から3年間新潟食料農業大学で講師として食品工学と物理学の科目の担当をしていました。

今後特に力を入れて行いたい研究は、ふたつ以上の加熱技術の組み合わせの使用による食品の熱プロセスの改善です。



食品生産科学部門 助教

REDO Mark Anthony Bolivar
レド マーク アンソニー ボリヴァ

“Learn many things, then you have the power to do and be anything you want” is a line from a letter my sponsor sent me when I was in High School. My family’s life was really tough when I was young, where access to clean water and healthy foods was a big challenge for us. Nevertheless, I considered myself blessed because a sponsor from another country supported my education from elementary until College. Those words from the letter struck me, so I value education ever since. I studied Mechanical Engineering, then pursued Master’s from the top university in the Philippines under a government scholarship. I got a deep interest on heating and cooling systems. While they are essential, they require substantial amount of energy. Thus, I researched on waste heat and renewable energy utilization to produce useful cooling by exploring an unconventional refrigeration cycle, as an energy-saving solution. Then, I worked as a project engineer on waste heat recovery systems at a manufacturing plant. I moved to Japan two years later to pursue Doctoral Degree at Waseda University. I worked as a full-time Research Associate at the same time. I contributed to solving the ongoing two-phase flow maldistribution in the state-of-the-art microchannel heat exchanger by proposing a general model, and enhanced its performance through a novel heat exchanger design in collaboration with Samsung Research Institute. I worked simultaneously on a project with the Ministry of Environment to evaluate the environmental impact of food showcases. My motivation has always been on thermal energy savings to protect the environment. Now, Kaiyodai has offered a wider platform – to explore efficient refrigeration systems for food preservation. Results could contribute beyond carbon neutral society but could expand to delivering safe and healthy products to combat food loss and hunger. And my value for education brings me here in academia – to share the knowledge to the students.



海事システム工学部門 助教

平井 友里恵

令和3年4月1日付で海事システム工学部門の助教に着任いたしました平井友里恵と申します。私は本学の乗船実習科を卒業後、外航海運会社の航海士として9年半勤務しておりました。この度、母校で教育・研究に携わる運びとなり、大変光栄に思っております。また、学術という新たな分野で経験を積ませていただく事に、新鮮で身が引き締まる思いとともに、とてもわくわくした思いであります。

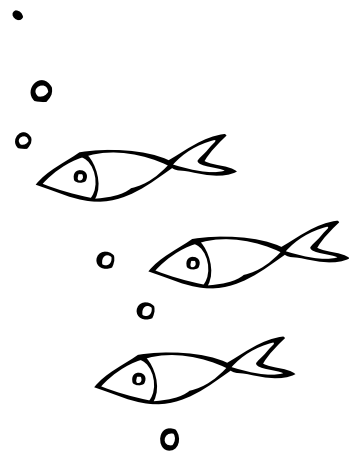
海運会社では、航海士として主にLNG（液化天然ガス運搬）船、コンテナ船、自動車専用船に乗船してきました。その他、海事コンサルタント会社へ出向した際には、操船シミュレータを使用して、新船型の大型船を安全に入港させるための実験検証や、衝突事故案件の調査業務なども担当しておりました。また、本学に着任するまでの陸上勤務では、外国人船員を含めた船員の教育訓練に関する業務を担当しておりました。

今後は、大学在学中に研究していた錨泊中の船体運動モデルについて引き続き取り組んで参ります。船上での実務経験を活かしつつ、AIの技術を取り入れながら、一般商船での実用に適うシミュレーションシステムへと発展させていくこと目指します。そして、近年増えつつある大型台風などによる走錨事故の予測に役立て、船舶の安全運航に寄与できればと考えております。

授業では、短艇実習や実験演習を担当しています。新型コロナウイルスの影響で対面での授業が難しい現状ではございますが、対面授業の際は皆さんとの積極的な対話を通して、知識の他、自身の経験から得られたことをお伝えしていきたいと思っております。

新たなことを学ぶという点では、学生のみなさんと同じスタートラインとなりますので、一緒に学びながら充実した学生生活の一助になれば幸いです。

いまなお新型コロナウイルスへの感染対策を緩められない状況下ですが、対面授業の再開により、皆さんと改めてお会いできる日を楽しみにしております。

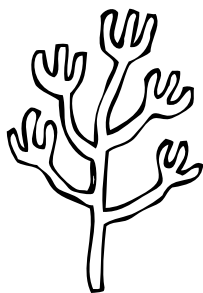




海洋電子機械工学部門 准教授
市川 桂

みなさん、こんにちは。ご進学・ご進級、おめでとうございます。2021年4月1日から海洋工学部の教職課程を担当している、准教授の市川桂（いちかわ かつら）です。私はこれまでに、地方私立短大や旧帝国大学、地方公立大学などで働いてきました。東京海洋大学はどの大学とも違う独特の雰囲気を持っていて、とても居心地がいい場所ですね。ポンドの近くを通りかかると、大学時代に漕艇部でインカレ入賞を目指していた頃を懐かしく思い出します。前身の東京商船大学の漕艇部とは、五大学レガッタという対校戦を中心に切磋琢磨していたものです。

私の専門分野は、国際・比較教育学です。メキシコから国境を越えてアメリカの学校に通う子どもたちや、アメリカ・カリフォルニア州のバイリンガル教育プログラム、デンマークの口頭試験制度について研究しています。子どもの能力の育成や測定に関わる制度が研究領域です。新型コロナウイルスの感染が拡大する前は、アメリカとメキシコの国境ゲートにあるマクドナルドで朝6時からインタビュー調査をしたり、サンフランシスコの学校で日本語のバイリンガル教育をしている様子を参与観察したり、デンマークの大学で数学の教員養成課程を調査したりしていました。これまで当たり前だと思っていたことが、まったく当たり前ではないということに気付いた一年でした。健康第一で過ごしていきましょうね！



海洋電子機械工学部門 助教
柴田 恭幸

令和3年4月1日付で海洋電子機械工学部門の助教に着任しました、柴田恭幸と申します。本学に着任するまでの5年間、群馬工業高等専門学校にて物理教育および研究に携わってきました。高校生～大学生年代を対象とした高専と大学とは、環境が全く異なりますが、日常生活の様々な部分で顔を出す物理学に皆さんが少しでも親しみを持てるよう、これまでの高専での経験も活かしつつ頑張っていきたいと思います。

私の専門は物理学の中でも物性物理学という分野に属します。物性物理学は、私たちの身の回りにある様々な材料の機能性がどういう原理に基づいて発現されるのかなどを探求する分野ですが、私はその知見をエネルギー分野へ応用していくことを目指した研究を進めています。2019年にリチウムイオン二次電池がノーベル化学賞を受賞したことは記憶に新しい出来事かと思いますが、これら二次電池の性能評価に関する研究をこれまでに行っており、最近では未利用熱利用を目指して、身の回りの熱で充電可能な新しい概念に基づく電池開発を行っています。本学では、これらの研究に加え、似た評価手法を活用できるバイオセンサ等の研究にも取り組んでいく予定です。これらの研究テーマに興味がある方は、気兼ねなくお声掛けください。新しい技術および物質の新たな機能性探索を一緒に進めていきましょう。

新型コロナウイルス感染症の終息がまだ見えぬ状況ではありますが、一日でも早くこの状況が改善され、皆さんとお会いできる日を楽しみにしています。

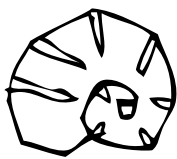




流通情報工学部門 准教授
坂井孝典

2021年4月より流通情報工学部門に着任しました。着任前は、マサチューセッツ工科大学の在シンガポール研究機関であるSingapore-MIT Alliance for Research and Technology (SMART) にて、シンガポールやポストンを対象とした研究プロジェクトに参画していました。モビリティの進化と都市との相互関係に焦点を当て、特に、都市貨物交通と土地利用、及び、都市貨物交通流に関するモデル開発・政策分析に取り組んできました。自動運転車やドローン等の新たな交通モードの普及に加え、世界的なCOVID-19の流行に直面し、諸活動のオンライン化やEコマースの成長が進む中、この分野における研究は益々重要になると考えています。

私は、これまでに、土木工学、都市計画政策学を学び、様々な国・都市で、研究者・実務者の両方の立場から交通学・物流学に携わってきました。これらの経験を通じて得られた視点・知見を流通情報工学部門における教育に活かしたいと思っています。私自身、学びに終わりはありませんが、教員として、個々の学生が、社会や自然を正しく理解できる知性や良心を磨くことをサポートできればと思っています。2008年以降はほぼ海外で過ごしてきましたので、国内の環境について、知識が疎くなってしまいましたが、海洋大や他大学の先生方に色々ご助言を頂きながら、研究・教育環境を整えているところです。研究室のある越中島キャンパスは美しく、学生や職員の皆さんはとても親切で、これから海洋大の一員として仕事をすることに胸を弾ませています。



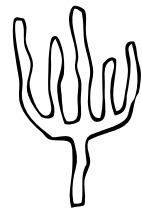
海洋環境科学部門 准教授
吉田毅郎

令和3年4月1日付で海洋環境科学部門の准教授に着任しました吉田毅郎と申します。

私は東京大学で博士（環境学）を取得後、日本学術振興会の特別研究員や東京大学で特任研究員および助教として勤務してきました。研究については、海洋環境を中心に観測や生物、生態系など幅広く取り組み、データ分析や画像解析を主に行っています。具体的には、レーダを用いた水域計測に関する研究や、海洋再生可能エネルギーの環境影響評価、養殖海域の底生生物による環境負荷低減効果に関する研究など行っています。最近ではAIを用いた画像解析による魚類の検出などにも取り組んでいます。このような取り組みから、環境に優しい海洋利用を目指しており、持続可能な社会の実現に貢献したいと考えております。

また、本学においては、データサイエンスやAIについての研究や教育に力を入れたいと考えております。海洋における幅広い分野のデータ解析を共に研究することを通じて、近年社会的に需要が高まっているデータサイエンス・AIについての素養を身につけた学生を世の中に送り出したいと考えています。

データ解析を行うため普段はパソコンの前に座ってばかりいると思われがちですが、私はフィールドに出て自らデータを取得することも重要視しています。学生の皆さんと共に研究することを楽しみにしておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。





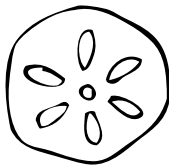
海洋環境科学部門 准教授
今 孝 悦

令和3年4月1日に海洋環境科学部門に着任した今孝悦と申します。本学に着任するまでは筑波大学下田臨海実験センターで助教を務め、主に底生無脊椎動物を対象にした生態学関連の教育・研究に携わってきました。本学でも引き続き、無脊椎動物学分野を担当する予定です。

一般に、底生無脊椎動物の成体は移動能力に乏しく、局所的な環境変化の影響を受けやすいことが知られています。例えば、特定の環境に特異的に生息する種の生息状況を記録し、生物群集の組成を適切に評価することで、その場の環境条件を把握することができます。こうした生物指標となる底生無脊椎動物の特性を利用して、養殖排水による環境負荷やマングローブ植林・干潟造成などによる回復効果など、人為的改変作用が生態系に及ぼす影響の評価に取り組んでいます。

また、現在では気候変動にも目を向け、海洋酸性化問題も取り扱っています。海洋酸性化とは大気中のCO₂が海洋に溶け込み、海水のpHが長期的に低下する現象を指します。炭酸カルシウムの飽和度が低下するため、石灰質から成る貝殻・骨格の形成が阻害され、石灰化生物の成長や生存が著しく減じられてしまいます。無脊椎動物であるこれら石灰化生物への影響評価も精力的に行っています。

授業ではこれらの研究内容も紹介しながら、無脊椎動物学の魅力を伝えていけたらと思います。興味があれば是非お気軽にお声掛けください。皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

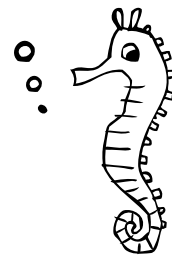


海洋環境科学部門 助教
山 本 絢 子

令和3年4月1日付で海洋環境科学部門の助教に着任いたしました山本絢子と申します。カナダでの13年間の留学中に学士・修士・博士を取った後帰国し、海洋研究開発機構で3年半研究をしておりました。またその後1年弱ですが民間企業で働き、気候変動に関するリスクアナリストとして経験を積ませていただいた後、本学に着任させていただきました。

専門は大規模中緯度大気海洋相互作用で、大気と海洋がどのように互いに作用しあって私たちを取り囲む気象や気候をどう形作っているのか、また今後地球温暖化でその関係性がどう変化していくのかというところに注目をして主に数値計算を使って研究を行っております。カナダに長く住んでいた関係で、これまでは大西洋における現象、特に大西洋数十年規模振動と呼ばれる北大西洋で数十年の周期で海面水温が変動する現象に着目し、その発生における力学過程やこの海面水温の長周期変動の気候への影響についての研究を行ってまいりました。本学では引き続き大西洋のこういった現象についてさらに解明していく一方、日本により深い関係性のある太平洋における現象についても研究の幅を広げていきたいと思っております。

コロナの影響でなかなかみなさんとお会いできる機会が残念ながらまだありませんが、授業や研究活動を通じてこの分野の面白さなどを伝えていけたらと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



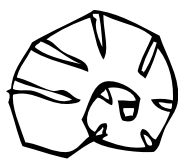


海洋資源エネルギー学部 准教授
野村 瞬

2021年4月に海洋資源エネルギー学部准教授に着任しました野村瞬(のむら しゅん)です。専門は「海洋地盤工学」で海洋の地盤域の活用・管理方法を研究しています。3月まではJAMSTECに所属し、①海底を大規模に移動する乱泥流の運動機構や②海底地盤の力学モデルの構築、③深海域におけるコンクリートの劣化メカニズムの解明等に携わってきました。

海底面と地殻に挟まれた境界部には必ず海洋地盤が存在し、その領域は地球規模でみると狭く、占有率は大きくはありません。しかしながら、自然界でみられる多くの境界部同様、多様な現象が数多く観察される領域であり、産業界・学術界から大きな期待が寄せられています。例えば、継続的に実施された海底観測は当該領域が我が国を資源立国に押し上げるポテンシャルを有していることを明らかにしており、その潜在能力を持続可能な形で最大化する手法が日々模索されています。我々の豊かな生活を維持し、多様な生態系の中で共存共栄を図るためにも、海洋地盤への理解を今後も深めていく必要があると考えています。

本学では、自身の専門とする海洋地盤工学の知識を発展させるとともに、講義や研究を通して得られる学生さんの自由かつ大胆な発想を引き出し、共に考える中で海洋地盤を人類にとって有用なリソースとして活用する手法を模索していきたいと思っております。若輩者ですがご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

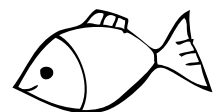


海洋資源エネルギー学部 助教
吴 連 慧

2021年4月に海洋資源エネルギー学部助教として着任しました吴連慧(ご れんけい)と申します。私は2012年中国海洋大学を卒業して、本学の「日中韓プログラム」を通じて来日しました。本学の博士前期と後期課程を経て、2017年9月に博士号をいただきました。そのあとは、東京大学工学系研究科の研究者として勤務しておりました。この度母校の助教に着任することができまして、大変光栄に思います。

現在世界人口の40%は海岸線から100km以内の地域に住んでいます。人口の集中と経済発展に伴う環境悪化や資源の枯渇などの問題が生じ、沿岸域への負荷も大きくなっています。さらに、地球温暖化に伴う気候変動による海面水位の上昇、台風の激化が懸念されています。近年では、海岸侵食による国土流失の激甚化、高潮・高波による被害の頻発化などの課題が沿岸域の持続的な利用・発展に大きく影響を及ぼしています。私の専門は海岸工学であり、上記のような課題の解決に向けて研究に取り組んでいます。具体的には、衛星データを用いて全国の海岸線の位置を定期的に把握できる手法の開発、機械学習を利用して高潮の早期予測手法の構築と沿岸部都市における複合的な要因により都市浸水モデルの開発などの研究開発を行っています。興味がある方はぜひ気軽に話しに来てください。

今後は海洋大の一員として、本学の教育・研究及び国際交流に貢献できればと思います。これからどうぞよろしくお願い致します。



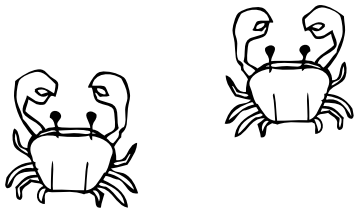
総合情報基盤センター 助教
下地 邦 寿

令和3年4月1日に総合情報基盤センターの助教に着任しました、下地邦寿と申します。

本学に着任するまでは、文部科学省でサイバーセキュリティや情報インフラを担当しておりました。この度、ご縁をいただき本校で働くこととなり、今まで身に着けた知識や技術を生かし、貢献させていただければと考えております。

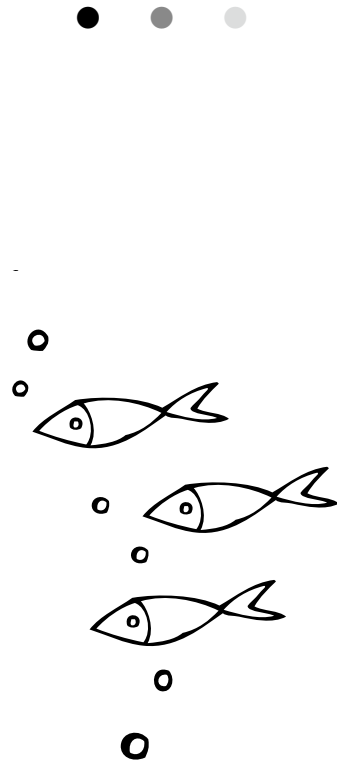
総合情報基盤センターは、以前は計算機を扱うセンターでしたが、時代は移り、現在はネットワークやメールといった、情報インフラを支え、かつ本学の構成員が安心・安全にインフラを利用できるように、セキュリティを担保することがミッションになりつつあります。さらにコロナ禍やニューノーマルの時代においては、テレワーク・リモート授業へ対応も求められます。

情報インフラは目立ちませんが、教育・研究・事務を支える屋台骨のようなところかと思っております。使えて当たり前、使えなくなったとき困る、そのような存在になりつつあるので、できるだけトラブルなく運用できるように努めていきたいと思っております。



また、1月にはキャンパスコアシステムの更新を控えており、こちらも喫緊の大きな課題です。大規模なシステムの乗り換えはかなりハードな業務で今から頭が痛いのですが、現行からスムーズに移行できるよう、最善を尽くしていきたいです。

最後になりましたが、東京海洋大学の益々の発展に、及ばすながら尽力させていただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



2020年度自治委員会・学生会報告書

●2020年度臨時学生大会報告書

品川キャンパス 自治委員会議長
野口 龍太

1. 各委員会の活動報告および決算報告

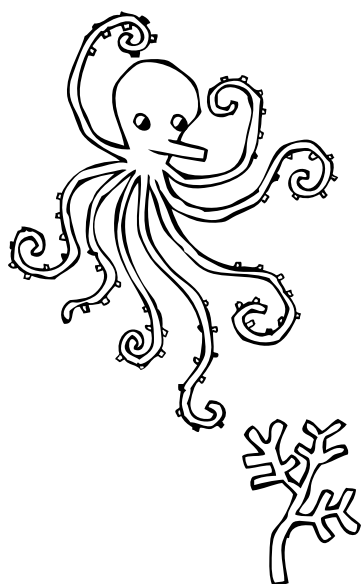
各委員会の活動報告および決算報告を行い、全ての委員会の報告が承認されました。

報告内容は以下のとおりです。

●自治委員会2019年度決算

〈収 入〉	(円)
前期繰越金・利息	407,942
自治委員会分配金	138,250
新歓チケット売り上げ	29,300
利息	2
計	575,494

〈支 出〉	
消耗品費	5,770
印刷消耗品費	93,400
手数料	654
新歓チケット代返金	13,200
計	113,024



〈来年度への繰越金〉

収入	575,494
支出	113,024
来年度繰越金	462,47

●サークル委員会2020年度決算

〈収 入〉	(円)
前期繰越金・利息	229,846
雑収入	6,000
計	235,846

〈来年度への繰越金〉

来年度繰越金	235,846
--------	---------

●海鷹祭実行委員会2020年度決算

〈収 入〉	(円)
第60回繰越金	5,600,895
海鷹祭実行委員会費	1,177,500
その他収入(利息等)	82,080
計	6,860,475

〈支 出〉	
電話代・Wi-Fi代等	117,324
その他(交通費・スポーツ保険等)	120,387
計	237,711

〈来年度への繰越金〉

収入	6,860,475
支出	237,711
来年度繰越金	6,622,764

2. 2020年度自治会費分配報告について

〈収 入〉

自治会費		
新入生(20,000円×286人)	5,720,000	
(うち1名入学辞退)		
編入生(10,000円×6人)	60,000	
未納入者(20,000円×40人)	- 800,000	
入学辞退者(20,000円×1人)	- 20,000	
計	5,780,000	

〈支 出〉

サークル委員会	(72.5%)	3,414,750
海鷹祭実行委員会	(25%)	1,177,500
学生委員会	(2.5%)	117,750
印刷機積み立て代	(固定)	250,000
計		4,960,000

3. 2021年度自治会費分配案について

〈収 入〉

自治会費		
新入生(20,000円×292人)	5,840,000	
編入生(10,000円×6人)	60,000	
計	5,900,000	

〈支 出〉

サークル委員会	(72.5%)	4,096,250
海鷹祭実行委員会	(25%)	1,412,500
学生委員会	(2.5%)	141,250
印刷機積立代	(固定)	250,000
計		5,900,000

●2020年度 海洋工学部学生会報告書

海洋工学部 学生会 事務局長
柿原 功宗

〈収 入〉

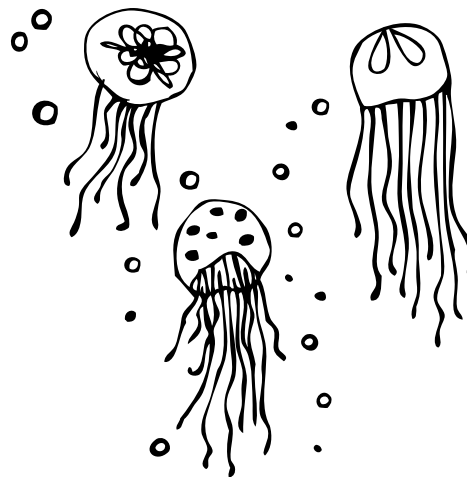
前年度繰越金	4,310,351円
学生会費	2,680,000円
2020年度新入生64人×40,000円	
編入生6人×20,000円	
計	6,990,351円

〈支 出〉

サークル活動支援金	3,760,735円
計	3,760,735円

〈来年度への繰越金〉

収入合計	6,990,351円
支出合計	3,760,735円
来年度繰越金	3,229,616円



大学祭特集

実行委員長から

海王祭の紹介



今年の海王祭はお家でお楽しみください

第61回海王祭実行委員長
海洋工学部 流通情報工学科3年

峰村海希

皆様こんにちは。2021年6月5、6日に開催されます海王祭におきまして実行委員長を務めております、峰村海希と申します。

初めに、この場をお借りして私たち海王祭実行委員会より日頃の感謝をお伝えします。本学の海王祭開催意義に賛同していただき協力してくださった企業、組合の皆様また参加の意思を表明していただいた地元の方々、本学の学生の皆様に厚く御礼申し上げます。

さて、この度第61回を迎える海王祭ですが、今回は対面で行わずオンラインで開催しますことを決断いたしました。その理由としましては、皆様もご察しの通り新型コロナウイルス感染拡大を防ぐべく、という運びでございます。

昨年の中止を受けまして、今年は無事開催できることを願い日々準備を進めておりましたが、このよ

うな状況になってしまい非常に残念です。しかし、海王祭の本来の目的であります海事普及につきましては、皆様に海の面白さを伝え、海運への興味を持っていただけるよう、例年と同様気合いを入れ、多くの企画を準備しております。

また、今年の中王祭は一味違います。開催日は2日間と設けられておりますが、各企画の内容を6月30日まで海王祭のホームページ上に掲載しております。そのため皆様のお好きな時間、お好きな場所で海王祭にいらっしゃってください。海王祭実行委員一同お待ちしております。



ニュース & トピックス

令和2年度学位記・修了証書授与式を挙行了しました

令和2年度学位記・修了証書授与式を、3月25日（木）に品川キャンパス楽水会館にて挙行了しました。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大を防止し、卒業生・修了生の新生活を守る観点から規模縮小開催とし、学内で代表者のみにて執り行いました。

式典の様子は、当日ご参加いただけなかった方に向けて初めてライブ配信でも中継し、代表者以外の卒業生・修了生には、希望者に、各学科・専攻ごとの教室での中継と学位記配付が行われました。

例年と異なり、卒業生・修了生はそれぞれの場所で学位記を受け取ることとなりましたが、折しも満開の桜の下、思い出の詰まった母校から旅立つ日を迎えました。

竹内学長は卒業生・修了生に向けた式辞の最後に、自身も令和2年度末で退任となるため、卒業生・修了生の門出とともに自身も海洋大を「卒業」となることと、これまでの感謝を述べました。学長式辞の全文は、大学ホームページからご覧いただけます。

また、卒業生・修了生へ向けたいお祝いメッセージと

して、東京水産大学ご出身で衆議院議員の小野寺五典様と本学の同窓会の一つである海洋会会長平塚惣一様からご祝辞をいただきました。本年は来賓の方にご参加いただけませんでしたので、大学ホームページへ掲載しております。

なお、式典に参加できなかった皆様のために、当日ライブ配信した動画のアーカイブを本学校友会ホームページへ掲載しております。（視聴には、校友会IDでのログインが必要となります。）



代表者のみの参加



換気をしながらの授与式



学長式辞

令和2年度学生表彰授与式、学業優秀学生奨学金授与式、 学会等各賞表彰式を行いました(令和3年3月24日)

○学生表彰(学部)

東京海洋大学学生表彰規則に基づき、入学以来よく
勉学に努め、優秀な学業成績をおさめた学部学生8名に

対して、日頃の努力を称え、表彰状および記念品が授
与されました。



竹内学長(前列中央)と受賞した学生

○学生表彰(大学院)

東京海洋大学学生表彰規則に基づき、研究活動にお
いて特顕著な研究成果をおさめた学生7名(うち1名は

早期修了学生にも該当)に対して、日頃の努力を称え、
表彰状および記念品が授与されました。



竹内学長(前列中央)と受賞した学生

○学業優秀学生奨学金授与式

東京海洋大学学業優秀学生奨学金規則に基づき、成

績優秀な博士前期課程2年次在籍者で博士後期課程に進学する6名へ奨学金の目録が授与されました。



竹内学長（前列中央）と受賞した学生

○学会等名賞表彰式

特に顕著な学業成績をおさめた学部学生24名、大学院学生2名に対して、以下に記載した各学会等の表彰状および副賞が授与されました。

なお、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学会等からのご来賓のご参列をご遠慮いただいたため、表彰状は、竹内学長の代行により授与されました。

- 海洋会「海洋会賞」
- 日本機械学会「畠山賞」
- 日本船舶海洋工学会「奨学褒章」
- 日本航海学会「奨学褒章」
- 空気調和・衛生工学会「振興賞学生賞」
- 海技教育財団「会長賞」
- 日本マリンエンジニアリング学会「優秀学生奨励賞（山下勇賞）」
- 日本マリンエンジニアリング学会「優秀大学院生奨励賞（林俊一賞）」
- 日本物流学会「物流研究奨励賞」



竹内学長（前列中央）と受賞した学生



竹内学長（前列中央）と受賞した学生

令和3年度入学式を挙りました

令和3年度入学式を、4月7日（水）に品川キャンパス楽水会館にて挙りました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小し、学内で代表者のみにて執り行いました。式典会場でご参加いただけない方に向けて、式典の様子はライブ配信でも中継するとともに、代表者以外の新入生のために、両キャンパス内に動画を視聴できる教室を用意しました。

井関学長は式辞で、「今は困難な時期ですが、困難な時こそ希望があり、ピンチの時こそチャンスです」と述べ、新入生を激励しました。学長式辞の全文は、大

学ホームページからご覧いただけます。

また、入学生へ向けたお祝いメッセージとして、東京水産大学ご出身で衆議院議員の小野寺五典様、本学経営協議会委員の五十嵐道子様からご祝辞を、本学客員准教授で名誉博士のさかなクンより、動画メッセージとお祝いのイラストをお寄せいただきました。本年は来賓の方にご参加いただけませんでしたので、いただいた祝辞は大学ホームページへ掲載しております。

なお、当日ライブ配信した動画のアーカイブは、本学校友会ホームページへ掲載しています。（視聴には、事前に登録した校友会IDでログインが必要となります。）



学長式辞



入学生代表宣誓

就職情報

令和2年度卒業者の就職先

海洋科学部・海洋生命科学部・ 海洋資源環境学部・水産専攻科

業 種	企 業 名
農業、林業	林牧場
漁 業	北部太平洋まき網漁業協同組合連合会
建 設 業	西松建設株式会社
	深田サルベージ建設株式会社
	若築建設株式会社
製 造 業	墨田川造船株式会社
	日本水産株式会社
	象印マホービン株式会社
	昭和産業株式会社
	住友重機械マリンエンジニアリング株式会社
	三基商事株式会社
	三浦工業株式会社
	興研株式会社
	丸大食品株式会社
	株式会社新来島どっく
	株式会社合食
	株式会社ロピア
	株式会社ビーネックステクノロジーズ
	株式会社 大島造船所
	株式会社 極洋
	株式会社 河村屋
	横浜魚類株式会社
	ブルドックソース株式会社
	ケンコーマヨネーズ株式会社
	かどや製油株式会社
	カゴメ株式会社
	株式会社光岡自動車
	電気・ガス・ 熱供給・水道業
京葉ガスエナジーソリューション株式会社	
ENEOS グローブ	
情報通信業	独立行政法人 情報処理推進機構
	株式会社富士通エフサス
	株式会社日本レジストリサービス
	株式会社東洋信号通信社
	株式会社ファイナンシャルブレインシステムズ
	株式会社トウ・ソリューションズ
	株式会社ディブレイク

業 種	企 業 名
情報通信業	株式会社キッセイコムテック
	株式会社アイレックス
	株式会社アイシス
	株式会社アイエンター
	オージス総研
株式会社K-BIT	
運輸業、郵便業	日本郵船株式会社
	中部国際空港株式会社
	大東港運株式会社
	川崎汽船株式会社
	上野トランステック株式会社
	商船三井フェリー株式会社
	鹿児島船舶株式会社
	共栄マリン株式会社
	株式会社日新
	株式会社鶴見サンマリン
	株式会社商船三井
	株式会社紀文フレッシュシステム
	株式会社フェリーさんふらわあ
	株式会社 日立物流
	ファイズホールディングス
	NSユナイテッド海運株式会社
	株式会社ロジスティクス・ネットワーク
卸売業、小売業	豊田通商株式会社
	福一漁業株式会社
	東洋冷蔵株式会社
	東京食肉市場株式会社
	株式会社魚力
	株式会社ヤオコー
	株式会社 西原商会
キャノンマーケティング株式会社	
金融業・保険業	独立行政法人 農林漁業信用基金
	三井住友海上火災保険株式会社
不動産業・物品賃貸業	三井不動産レジデンシャル株式会社
	株式会社ハウスイ
学術研究、専門・ 技術サービス業	公益財団法人 海外漁業協力財団
	株式会社アルファ水工コンサルタンツ
	株式会社BML フード・サイエンス
	一般財団法人日本気象協会

業 種	企 業 名
学術研究、専門・ 技術サービス業	アクセンチュア株式会社
	株式会社構造計画研究所
生活関連サービス業、 娯楽業	日本中央競馬会
	株式会社小樽水族館公社
	オリックス水族館株式会社
教育、学習支援業	独立行政法人海技教育機構
	東京海洋大学
	株式会社臨海
	株式会社早稲田学習研究会
	学校法人越生学園 武蔵越生高等学校
複合サービス事業	日本海洋事業株式会社
	株式会社日本アクセス
	株式会社ベネッセスタイルケア
	株式会社アクア
	ニッスイマリン工業株式会社
公 務	目黒区役所
	文京区役所

業 種	企 業 名
公 務	品川区役所
	東京都庁
	鳥取県庁
	中央区役所
	川崎市役所
	千葉県庁
	青森県庁
	水産庁
	神戸市役所
	小平市役所
	山口県庁
	山形県庁
	高知県庁
	厚生労働省
	警察庁
	沖縄県庁
	愛知県庁

海洋工学部・乗船実習科

業 種	企 業 名
建 設 業	ダイダン株式会社
	株式会社竹中工務店
	五洋建設株式会社
	深田サルベージ建設株式会社
	日鉄エンジニアリング株式会社
	日本電設工業株式会社
	株式会社石井鐵工所
製 造 業	ENEOS 株式会社
	NTN株式会社
	いすゞ自動車株式会社
	キャノン株式会社
	サトーホールディングス株式会社
	トヨタ自動車株式会社
	海洋電子工業株式会社
	三井E&S造船株式会社
	常石造船株式会社
	東京計装株式会社
	電気・ガス・ 熱供給・水道業
日本下水道事業団	
情報通信業	エヌ・ティ・ティワールドエンジニアリングマリン株式会社
	ridgelinez株式会社
	クラウドエース株式会社
	トーテックアメニティ株式会社
	ニッセイ情報テクノロジー株式会社
	ヤマトシステム開発株式会社
	伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

業 種	企 業 名
情報通信業	株式会社エヌ・ティ・ティデータ
	株式会社NYK Business Systems
	株式会社昭和システムエンジニアリング
	株式会社日立ソリューションズ・クリエイト
	株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ
	鉄道情報システム株式会社
	株式会社日立システムズエンジニアリングサービス
運輸業、郵便業	株式会社シーゲートコーポレーション
	JXオーシャン株式会社
	NSユナイテッド海運株式会社
	SBS東芝ロジスティクス株式会社
	コマツ物流株式会社
	ドーヴァル・シップ・マネジメント株式会社
	安田倉庫株式会社
	株式会社住友倉庫
	株式会社エヌ・ティ・ティロジスコ
	株式会社宇徳
	鴻池運輸株式会社
	株式会社商船三井
	共栄タンカー株式会社
	三菱ケミカル物流株式会社
	三菱鉱石輸送株式会社
	三菱倉庫株式会社
	鹿児島船舶株式会社
	出光タンカー株式会社
	新日本海フェリー株式会社
	川崎汽船株式会社
川崎近海汽船株式会社	

業 種	企 業 名
運輸業、郵便業	第一中央汽船株式会社
	田淵海運株式会社
	東京国際埠頭株式会社
	日鉄物流株式会社
	日本海運株式会社
	日本郵船株式会社
	飯野海運株式会社
	明治海運株式会社
	郵船クルーズ株式会社
卸売業、小売業	伊藤忠エネクス株式会社
	株式会社ヤオコー
	株式会社あらた
	株式会社ミスミ
	商船三井テクノトレード株式会社

業 種	企 業 名
金融、保険業	株式会社りそなホールディングス
	明治安田システム・テクノロジー株式会社
教育、学習支援業	独立行政法人海技教育機構
医療業・保健衛生	株式会社アイロムグループ
サービス業	株式会社K's works
	株式会社ステップ
	株式会社ハリマビシステム
	新日本検定協会
	日本サルヴェージ株式会社
	日本海事協会
公 務	名鉄自動車整備株式会社
	富山県庁

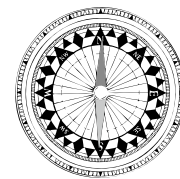
大学院海洋科学技術研究科

業 種	企 業 名
農業、林業	鹿児島県農業協同組合連合会
鉱業、採石集、砂利採取業	独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構
	出光興産株式会社
建 設 業	ダイダン株式会社
	あおみ建設株式会社
	JFEエンジニアリング株式会社
製 造 業	六甲バター株式会社
	養命酒製造株式会社
	富士電機株式会社
	富士通株式会社
	日本無線株式会社
	日本水産株式会社
	日本新薬株式会社
	日清製粉株式会社
	日清食品ホールディングス株式会社
	日産化学株式会社
	凸版印刷株式会社
	独立行政法人国立印刷局
	通威集団有限会社
	長谷川香料株式会社
	中外製薬株式会社
	沢井製薬株式会社
	大和製罐株式会社
	昭和産業株式会社
	昭和化学工業株式会社
	三菱電機株式会社
	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社
	高田製薬株式会社
	高砂香料工業株式会社

業 種	企 業 名
製 造 業	株式会社白崎コーポレーション
	株式会社川崎重工業
	株式会社小松製作所
	株式会社極洋
	株式会社ロッテ
	株式会社ヤッホーブルーイング
	株式会社ヤクルト本社
	株式会社ニッポン
	株式会社トプコン
	株式会社デンソー
	株式会社シマノ
	株式会社サティス製菓
	株式会社コングレ
	株式会社明治
	株式会社山安
	株式会社Mizkan
	王子ホールディングス株式会社
	伊藤ハム株式会社
	有限会社佐野造船所
	ヤンマー船用システム株式会社
	ヤマハ発動機株式会社
	ヤマサ醤油株式会社
	マルサンアイ株式会社
	マルコメ株式会社
	マイクロンメモリジャパン合同会社
	ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社
	プライム プラネット エナジー & ソリューションズ株式会社
	パナソニック株式会社
	はごろもフーズ株式会社
	ハウス食品株式会社
	バイオ科学株式会社

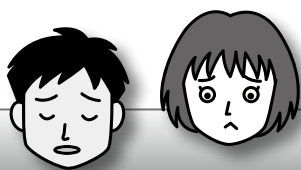
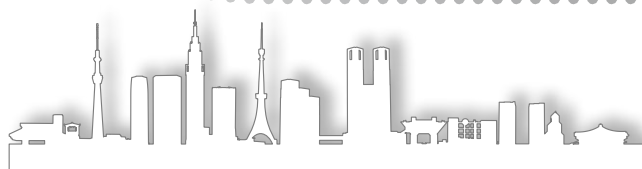
業 種	企 業 名
製 造 業	ニプロ株式会社
	セントラル硝子株式会社
	スターゼン株式会社
	キュービー株式会社
	キオクシア株式会社
	株式会社日立国際電気
	カゴメ株式会社
	オルガノ株式会社
	いなば食品株式会社
	JX金属株式会社
	株式会社なとり
	株式会社コベルコマテリアル鋼管
	電気・ガス・ 熱供給・水道業
広島ガス株式会社	
栗田工業株式会社	
京葉ガス株式会社	
株式会社西原ネオ	
株式会社ユーラスエナジーホールディングス	
情報通信業	農中情報システム株式会社
	日本電信電話株式会社
	国際ケーブル・シップ株式会社
	株式会社インフォマティクス
	株式会社NTTデータ・イントラマート
	株式会社NSソリューションズ東京
	株式会社 インテリジェント ウェイブ
	フューチャーインスペース株式会社
	株式会社NTTデータセキスイシステムズ
	株式会社JALインフォテック
	エクイニクス・ジャパン株式会社
	SCSK株式会社
	NEC通信システム株式会社
JRCS株式会社	
運輸業、郵便業	福山通運株式会社
	三菱倉庫株式会社
	佐川グローバルロジスティクス株式会社
	鴻池運輸株式会社
卸売業・小売業	日星産業株式会社
	岩谷産業株式会社
	丸紅株式会社
	株式会社大塚商会
	株式会社ノースイ
	株式会社ナックス
	まいばすけっと株式会社 My Basket CO., LTD.
	株式会社ベニレイ
	アリババ
	DHL サプライチェーン株式会社
金融業・保険業	農林中央金庫
	日本漁船保険組合
	株式会社りそなホールディングス

業 種	企 業 名
不動産業・物品賃貸業	株式会社サンセイランディック
学術研究、専門・ 技術サービス業	独立行政法人環境再生保全機構
	三洋テクノマリン株式会社
	国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産資源研究所
	国立研究開発法人科学技術振興機構
	公益財団法人日本離島センター
	株式会社日本海洋生物研究所
	株式会社生活品質科学研究所
	株式会社シー・アイ・シー
	株式会社オリエンタルコンサルタンツ
	株式会社アルファ水工コンサルタンツ
	株式会社Cancer Precision Medicine
	一般財団法人日本食品分析センター
	一般財団法人日本食品検査
	一般財団法人リモート・センシング技術センター
	リージョナルフィッシュ株式会社
	パシフィックコンサルタンツ株式会社
シンプレクス株式会社	
サンコーコンサルタント株式会社	
株式会社堀場テクノサービス	
株式会社環境管理センター	
J&T環境株式会社	
宿泊業、飲食サービス業	ソシオークホールディングス株式会社
教育、学習支援業	富山県教育委員会（高等学校教員）
	栃木県教育委員会（高等学校教員）
	独立行政法人 海技教育機構
	東京海洋大学
	青森県教育委員会（高等学校教員）
	神奈川県教育委員会（高等学校教員）
医療、福祉	株式会社ソラスト
	JCRファーマ株式会社
複合サービス業	公益財団法人 日本財団
公 務	北海道庁
	防衛装備庁
	八丈町役場
	東京都庁
	千葉県庁
	水産庁
	小笠原村
	三重県庁
	国土交通省
	厚生労働省
	宮城県庁
	海上保安庁
	茨城県庁
品川区役所	



学生相談室からの

お知らせ



学生相談室について

学生相談（カウンセリング）

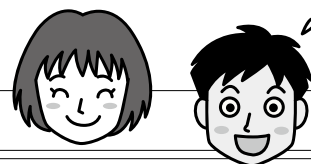
学生生活、進路、対人関係で悩みがある場合は、専門カウンセラーが相談に応じます。

話をしてみることで、あるいは自分の思いを表現してみることで、思いのほか気持ちが楽になったり、次

への展開へのきっかけが見つかったりもするものです。相談内容についての秘密は厳守されています。

当面の間、新型コロナウイルス感染症の対応として原則、電話でのカウンセリングとなります。なお曜日変更となる場合がありますので、HPをご確認ください。

品川キャンパス



場 所	大学会館 1 階学生相談室
日 時	※詳細については、保健管理センターホームページをご覧ください。 大学ホームページ — 「在学生の方へ」 — 「保健管理センター」 — 「学生相談」
相談員	井上先生（女性：臨床心理カウンセラー・月曜日担当） 高井先生（女性：臨床心理カウンセラー・木曜日担当）
予約方法	メールでご予約ください。 メール s-counseling@o.kaiyodai.ac.jp

越中島キャンパス

場 所	越中島会館 1 階 学生相談室
日 時	水・金曜日 12:00 ~ 16:00 ※詳細については、保健管理センターホームページをご覧ください。 大学ホームページ — 「在学生の方へ」 — 「保健管理センター」 — 「学生相談」
相談員	善積先生（女性：臨床心理カウンセラー・水曜日担当） 河崎先生（女性：臨床心理カウンセラー・金曜日担当）
予約方法	直接相談室においでくださるか、保健管理センターでご予約ください。 1. 窓口にて 2. 電話 03-5245-7357（保健管理センター事務室） 3. メール e-hoken@o.kaiyodai.ac.jp

令和3年度 学生支援教員

1年生

学部	学科	教員氏名		
海洋生命科学部	海洋生物資源学科	近藤 秀裕	加藤 豪司	
	食品生産科学科	小山 寛喜	長阪 玲子	
	海洋政策文化学科	中原 尚知	原田 幸子	
海洋工学部	海事システム工学科	内田 洋子	近藤 逸人	榎野 純
	海洋電子機械工学科	章ふえいふえい	藤野 俊和	米田 昇平
	流通情報工学科	中川 雄二	関口 良行	
海洋資源環境学部	海洋環境科学科	神谷 充伸	中島 主恵	溝端 浩平
	海洋資源工エネルギー学科	内田 圭一	鶴我 佳代子	

2年生

学部	学科	教員氏名		
海洋生命科学部	海洋生物資源学科	寺原 猛	壁谷 尚樹	
	食品生産科学科	松本 隆志	高橋 希元	
	海洋政策文化学科	柿原 泰	松井 隆宏	
海洋工学部	海事システム工学科	村井 康二	田村 祐司	古谷 雅理
	海洋電子機械工学科	大貫 等	小池 雅和	井原 智則
	流通情報工学科	竹縄 知之	麻生 敏正	
海洋資源環境学部	海洋環境科学科	村瀬 弘人	森 直文	高橋 美穂
	海洋資源工エネルギー学科	谷 和夫	井田 徹哉	

3年生

学部	学科	教員氏名		
海洋生命科学部	海洋生物資源学科	團 重樹	矢澤 良輔	
	食品生産科学科	久田 孝	柴田 真理朗	
	海洋政策文化学科	日臺 晴子	大石 太郎	
海洋工学部	海事システム工学科	高木 直之	岡崎 忠胤	西崎 ちひろ
	海洋電子機械工学科	井上 順広	國吉 直	後藤 慎平
	流通情報工学科	渡邊 豊	生天目 知美	
海洋資源環境学部	海洋環境科学科	山中 寿朗	神尾 道也	牧田 寛子
	海洋資源工エネルギー学科	下島 公紀	古山 精史朗	

4年生

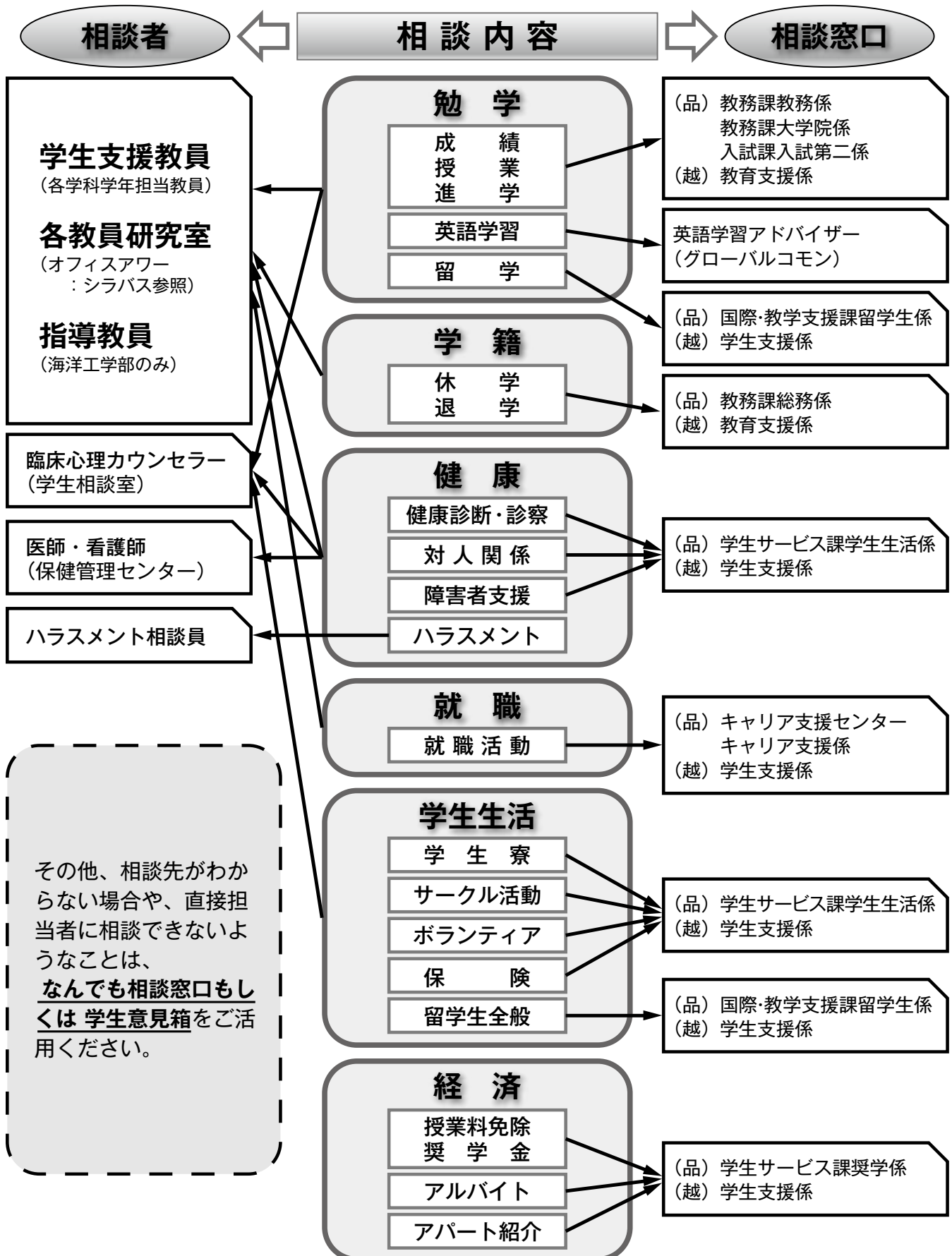
学部	学科	教員氏名		
海洋生命科学部	海洋生物資源学科	二見 邦彦	山本 洋嗣	
	食品生産科学科	石崎 松一郎	小川 美香子	
	海洋政策文化学科	佐々木 剛	婁 小波	
海洋工学部	海事システム工学科	陶山 貢市	南 清和	内野 明子
	海洋電子機械工学科	吉岡 諭	波津 久達也	関口 美保
	流通情報工学科	兵藤 哲朗	茂木 康平	
海洋資源環境学部	海洋環境科学科	島田 浩二	宮崎 奈穂	呉 海云
	海洋資源工エネルギー学科	池谷 毅	竹山 優子	

4年生

(旧カリキュラム)

学部	学科	教員氏名		
海洋科学部	海洋環境学科	根本 雅生		
	海洋生物資源学科	片桐 孝之	岩田 繁英	
	食品生産科学科	後藤 直宏	木村 凡	
	海洋政策文化学科	高橋 周	萩原 優騎	

本学の学生相談体制について



お知らせ

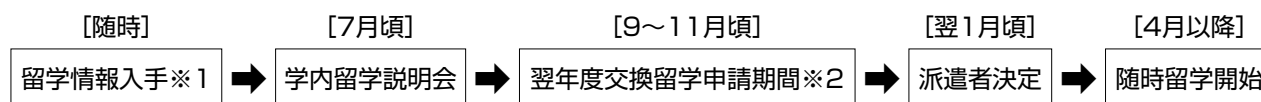
交換留学をしてみませんか？

新入生の皆さん、在学生の皆さん、新年度はいかがお過ごしでしょうか。

さて、東京海洋大学では2021年5月現在、世界の16カ国・地域の48大学と交換留学に関する協定（学生交流協定）を締結しています。交換留学とは、協定校へ3か月～最長1年間留学できる制度で、協定に基づき「受け

入れ大学は入学金、授業料を徴収しない」「留学先で取得した単位は、審査のうえ本学の単位に認定できる」「協定校から生活面、教育面での指導や、宿舍申請のサポートを受けられる」ほか、「専門的な講義を履修できる」など、個人的に語学学校などへ留学するのに比べて様々なメリットがあります。皆さんもぜひ留学してみませんか？

◆毎年の申請の流れ



※1 本学担当窓口で配布する「留学の手引き」や各協定校のHPをご覧ください。

※2 留学開始時期によっては、申請期間後も随時受け付けています。

◆留学できる大学（2021年5月1日現在）

（中国）哈爾濱商業大学、大連海洋大学、上海海洋大学、広東海洋大学、浙江海洋大学、大連海事大学、上海海事大学、中国海洋大学、集美大学、華東理工大学、華東師範大学、香港大学生物科学学院（台湾）台湾海洋大学、高雄科技大学、台湾大学理学院（韓国）釜慶大学校、全南大学校、韓国海洋大学校、木浦海洋大学校、釜山大学校、江原大学校（インドネシア）ボゴール農科大学、ハサヌディン大学、ディポネゴロ大学（フィリピン）サンカルロス大学（タイ）カセサート大学、チュラロンコン大学、プ・リンズオブソンクラ大学、マエファラン大学、マヒドン大学、ブラパ大学、ワライラック大学（ベトナム）カントー大学、ハノイ工科大学（カナダ）ヴィクトリア大学（オーストラリア）タスマニア大学（トルコ）エーゲ大学、イスタンブール大学、チャナッカレ・オンセキズ・マルト大学、ムーラ・シツッキ・コシマン大学水産学部（アイスランド）アイスランド大学、アクレイリ大学（ノルウェー）ノード大学、ノルウェー北極大学（ペルー）ラ・モリーナ国立農業大学（ブラジル）サンパウロ大学（アルゼンチン）サンマルティン大学（ナミビア）ナミビア大学

◆交換留学の担当窓口

（品川キャンパス）学務部国際・教学支援課留学生係

（越中島キャンパス）越中島地区事務室学生支援係

留学支援の奨学金について（返済不要）

【学内の奨学金】

①東京海洋大学海洋生命科学部及び海洋資源環境学部学術研究奨励基金（V種）

【学外の奨学金】

②日本学生支援機構海外留学支援制度（協定派遣）

③文部科学省トビタテ!留学JAPAN

※以上の奨学金は2020年度に募集が行われたものです。2021年度以降の募集の有無については窓口にお尋ねください。

※上記以外の一般的な奨学金（（独）日本学生支援機構の第1種、第2種奨学金等）を受給している場合、必ず留学前に大学に相談してください。事前手続きをしないと返納になることがあります。

国立科学博物館および国立美術館の利用について

本学は、「国立科学博物館 大学パートナーシップ」および「国立美術館キャンパスメンバーズ」に加入しております。

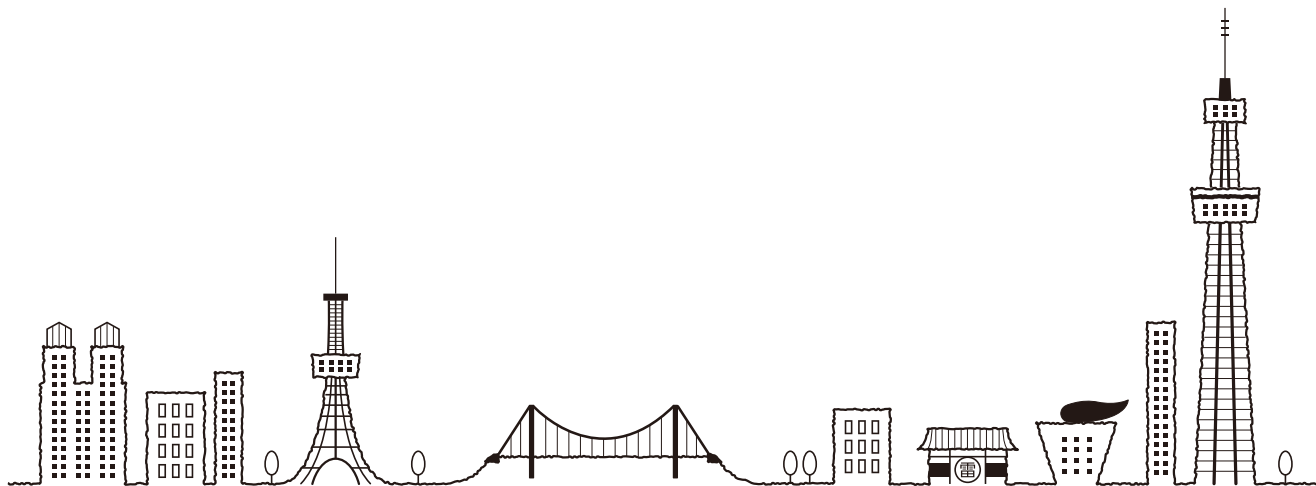
◆国立科学博物館 大学パートナーシップ利用可能施設

施設名	住 所
国立科学博物館(上野公園)	東京都台東区上野公園7-20
附属自然教育園	東京都港区白金台5-21-5
筑波実験植物園	茨城県つくば市天久保4-1-1

本学の学生証を提示することで、下記施設の常設展が無料で利用できるほか、特別展・企画展を割引料金で鑑賞できるなどの特典があるので、ぜひご利用ください。

◆国立美術館 キャンパスメンバーズ利用可能施設

施設名	住 所
東京国立近代美術館	東京都千代田区北の丸公園3-1
国立西洋美術館	東京都台東区上野公園7-7
国立新美術館	東京都港区六本木7-22-2
国立映画アーカイブ	東京都中央区京橋3-7-6



緊急時連絡システムについて

(さくら連絡網)

1. 緊急時連絡システムとは

本学のすべての学生・教職員と緊急時に連絡をとるためのメール・LINE・アプリによる配信システムです。

- ①台風・地震等の自然災害やインフルエンザ流行等による**緊急の休講等**を連絡します。
- ②**災害時の安否確認**や健康状態の収集手段としても使用します。
- ③その他、掲示板で告知するお知らせの中で緊急性があり重要と判断するお知らせ等の連絡をします。

2. 登録方法

携帯電話・スマートフォン等の携帯端末や自宅PC等の**複数のメールアドレス（4件まで）、LINE、アプリ**も登録できます。**必ず登録して下さい。**

3. 登録手順

(1) さくら連絡網登録用QRコードまたはURLにアクセスします。

QRコードはこちら →



URLはこちら → <http://390390.jp>

URLを直接入力した場合は、
認証コードの入力を求められます。
認証コード：204 441 4

(2) 連絡を受け取りたい方法を**【LINE】**、**【アプリ】**、**【メール】**から選びます。（※3種類とも登録できます。）

(3) **【LINE】**を選んだ場合

- ①LINEの友だち追加ボタンから登録（追加）します。（トークから登録開始）
- ②認証コード：204 441 4を入力します。
- ③IDとパスコードを入力します。

【アプリ】を選んだ場合

- ①さくら連絡網のアプリをインストールします。
- ②アプリを起動して、認証コード：204 441 4を入力します。
- ③IDとパスコードを入力します。

【メール】を選んだ場合

- ①登録用メール送信画面に切り替わるので、そのまま送信します。（※メール本文は変更しないでください。）
- ②さくら連絡網からメールで登録用のURLが届きます。
- ③URLにアクセスして、登録画面からIDとパスコードを入力します。

(4) メニュー画面（以下、マイページといいます）が表示されたら登録完了です。

4. メール受信時の注意

- ①緊急時連絡システムは、メール、LINE、を受信者が開封したかどうかの確認ができるシステムです。
また、アンケート形式で安否確認を行う場合もあります。
受信した場合は、必ず開封し、内容を確認した後、指示に従って回答して下さい。
- ②登録用メールが届かない場合は、ドメイン指定受信に「school-i.net」を追加登録して下さい。
- ③マイページ(<https://390390.jp/parent/menu>)をブックマーク（スマートフォンの場合はホーム画面に追加）しておくと、後日、メールアドレスの変更等を行う際に便利です。また、簡単ログイン設定をしておくと、次回からワンクリックでマイページにアクセスできます。
- ④配信先の変更を希望する場合やアドレス自体を変更した場合は、マイページのメニューの「連絡先を追加」から新し

い連絡先を追加するとともに、「登録情報確認」から古い連絡先を削除して下さい。

- ⑤ログインID、パスコードは、各自で管理して下さい。（入学時に、学部生には大学メールアドレスに配信（ただし令和2年4月入学者は紙で配付）。大学院生、非正規生には紙で配付していません。）
- ⑥パスコードを紛失した場合は、以下の問合せ先へご連絡下さい。
- ⑦緊急時連絡システムは、大学からの送信専用アドレスです。上記のアンケート形式での回答以外は、大学側では内容の確認ができませんのでご注意ください。

5. 個人情報の取り扱いに関して

緊急時連絡システムにご登録いただいたメールアドレス等、個人情報に関しては本学個人情報保護規則に則り厳正な取扱いをいたします。また、上記の目的に限り使用し、他の目的で使用することはありません。

EMERGENCY CONTACT SYSTEM

“さくら連絡網 (SAKURA RENRAKUMOU REGISTRATION)”

What is the Emergency Contact System?

The purpose of this system is to contact students, professors and university staff members by email in the following cases:

1. to inform them when classes are suddenly canceled due to a natural disaster (typhoon, earthquake), a flu epidemic or other reasons
2. to gather information about the safety and health of university members after a disaster
3. to disseminate urgent and important information displayed on the university's notice boards

How to register

Please register multiple mail addresses (up to Four) or LINE or other apps from mobile terminals such as mobile phones, smart phones, and home PCs in order to confirm sure and prompt correspondence from the university in an emergency. Please be sure to register.

Registration process

1. Access the QR code or URL for Sakura Renrakumou Registration.

QR code



URL

<http://390390.jp>

2. Choose the method by which you would like to receive information from the university: “LINE,” “app” or “Email.”

*You can also register all three.

3. If you choose **“LINE”**,

- ① register (add) from LINE's Add Friends button. (i.e., start from the “Talk” page).
- ② input Authentication code: 204 441 4.
- ③ input ID and Passcode.

If you choose **“app”**,

- ① Install the Sakura Renrakumou app.
- ② input Authentication code: 204 441 4.
- ③ input ID and Passcode.

If you choose **“Email”**,

- ① the page moves to the sending registration mail screen; please send an email.
*Please do not change the body of the mail.
- ② receive the registration email from Sakura Renrakumou.
- ③ access the URL and enter the ID and passcode on the registration screen.

4. Registration is completed when the menu screen is displayed.

Notes

- The system is configured to detect whether recipients have accessed their messages. It is also used to gather information about the safety of the registered community through questionnaires. When you receive it, please ensure that you open the message and reply according to the instructions.
- If you fail to receive the registration form after sending the registration email, please check your mobile phone's spam filter settings. Add the domain name school-i.net to your list of authorized contacts.
- Add the system login page (<https://390390.jp/parent/login>) to your bookmarks to easily access your email and passcode settings.
- To change your delivery settings, register a new email address.
- Manage your ID and passcode carefully, and make sure that you change your passcode after logging in for the first time. (ID and passcode is distributed at the time of enrollment)
- If you forget your passcode, contact the responsible section using the contact details below.
- The system is a send-only address. The university cannot receive emails sent to this address.

Privacy policy

Email addresses and other personal information registered on the system are strictly protected according to the university's privacy policy. The system is used exclusively for the purposes stated above.

Contact

General Affairs Department, General Affairs Division

Email: so-soumu@o.kaiyodai.ac.jp

Tel: 03-5463-0354

重要!

ネットワーク障害防止のための注意事項

キャンパス内で、ネットワーク停止が頻発しています。
研究室内の配線の点検をお願いします。

ループ状にケーブルを接続しない

ケーブルの両端をネットワーク機器に接続すると、出口のない通信パケットがネットワーク内で増大し、フロア全体や建屋全体が通信不能になるなどの重大な障害が引き起こされます。利用しないケーブルは機器から取り外してください。



古いハブ、壊れた LAN ケーブルを使用しない

古くなったプラスチック製のハブ(HUB、Switch)は、熱暴走等でフロア全体の通信障害の原因となることがあります。壊れた配線やコネクタの損傷も通信トラブルの原因になる場合があります。導入後の年数や破損状況などを確認し、適宜、買い替えましょう。

→ **金属製ケースのハブがオススメ**です。放熱に優れ、安定して長く使えます。
詳しい型番などは下記窓口にお問い合わせください。

研究室内のルータの設定・接続を正しく行う

研究室で個別に設置したブロードバンドルータ、無線 LAN ルータの DHCP 機能の誤設定により、フロアや建屋全体での通信障害につながる場合があります。ネットワークケーブルが正しく接続されているかを点検してください。

→ **「WAN」「LAN」を間違えると障害が発生します!**

古い OA タップの使用、定格電流を超えた使用や、タコ足配線は**火災の原因**になりますので、注意してください。



注意

PC は最新の状態にアップデートしてください

OS の脆弱性を狙ったウイルスによる情報漏えい被害が世界的に報告されています。利用している OS やウイルス対策ソフトを常に最新の状態を保つようにしてください。私有のノート PC でも、大学配布のウイルス対策ソフトをインストールすることができますので、是非活用してください。

Windows XP、Vista、8、Mac OS X、macOS の古いバージョンは、メーカーサポートが終了しています。これらの OS をお使いの場合は速やかに最新の OS に更新してください。
現在利用可能な OS は、Windows 10、Windows 8.1、最新バージョンの macOS です。

PC 等を廃棄する際はデータの消去をしてください

廃棄するパソコン等からの情報流出を防ぐため、ハードディスク、SSD 等の記録媒体の破壊装置、消去装置を利用してください。下記窓口にお持ちください。

情報システムに関する全学問合せ窓口

メール ict-support@o.kaiyodai.ac.jp 内線 0446

附属図書館 (品川) 1 階事務室内 (担当: 学術情報課情報企画係)

大学配布ソフトウェアの入手方法 <http://support.ipc.kaiyodai.ac.jp/>

Important!



Precautions for Preventing Network Failure

Network outages occur frequently on campus.
Check the wiring inside the research office.

Do not connect the cable in a loop (as in the picture.)

Connecting both ends of a cable to network equipment can cause serious obstacles. For example, communication packets without an exit increase within the network, making the entire floor or building unreachable. Remove unused cables from the equipment.



Do not use old hubs or broken LAN cables

An old plastic hub (HUB, Switch) may cause communication failure of the entire floor due to thermal runaway. Damaged wires and connector damage may also cause communication trouble. Check the years of use and state of damage and replace as necessary.

→ A hub with a metal case is recommended. It is stable, long-lasting, and provides excellent heat dissipation. For a detailed model number, contact the Inquiry Center given at the bottom of this page.

Set up and connect the router in the office correctly.

Misconfiguration of the DHCP function on the broadband router and wireless LAN router individually installed in the offices may lead to communication failure on the floor or the entire building. Check that the network cable is properly connected.

→ If "WAN" and "LAN" are confused, network failure will result! Use of old OA taps, use exceeding the rated current, and use of power strips **may cause fire**. Beware.



Caution

Optimize your PC with the latest updates



Information leakage due to viruses targeting OS vulnerabilities is reported worldwide. Make sure that the operating system and antivirus software you are using are kept up to date. Even on a private notebook PC, you can install the university-distributed antivirus software. Take advantage of it by all means. Manufacturer support has ended for Windows XP, Vista, 8, Mac OS X, and old versions of macOS. Update to the latest OS promptly if using these OS. The currently available OS are Windows 10, Windows 8.1, and the latest version of mac OS.

Delete data when discarding a PC, etc.

To prevent information leakage from discarded personal computers, etc., use data destruction and erasure devices for recording media such as hard disks and SSDs. Please bring them to the following counter:

Information System Inquiry Center

Email ict-support@o.kaiyodai.ac.jp Extension 0446

TUMSAT Library (Shinagawa) Office, first floor

To obtain University distribution software, contact: <http://support.ipc.kaiyodai.ac.jp/>

東京海洋大学校友会のご案内

Q1.「東京海洋大学校友会」とは何ですか？

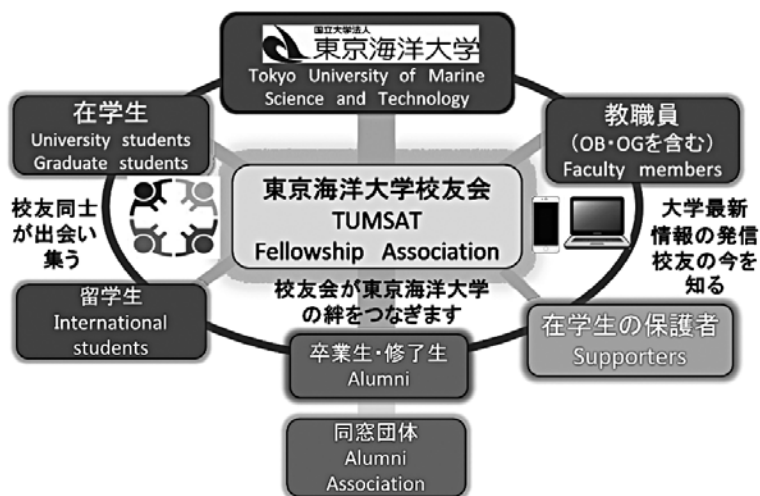
東京海洋大学は、2017年4月の新学部「海洋資源環境学部」設立を機に国内における唯一の海洋系総合大学として体制を強固にしました。今後、社会全体に強くその存在をアピールしていくため、2018年4月、全学的に「校友」同士の交流を活発化させ、本学の発展に寄与することを目的として、「東京海洋大学校友会」を発足しました。

Q2.「校友」とは誰ですか？

東京海洋大学および東京水産大学、東京商船大学等前身校の卒業生、在學生、在學生・卒業生の保護者、教職員の皆さまです。ホームカミングデーや練習船見学会など、「校友」限定イベントも企画し、「校友会ホームページ」や「校友会メルマガ」でお知らせいたしますので、ぜひご参加ください。

Q3.「校友会ホームページ」とは何ですか？アカウントはいつ貰えますか？

SNS機能、校友会メルマガ、公認課外活動団体ポータルサイトなど様々な機能を備えた「校友」限定ホームページです。「校友」の皆さまには個別アカウントを配布しております。(登録及び会費は無料です。)



58



海洋大の「今」が分かるコンテンツを少しずつ充実させています。開発中の機能もありますが、ぜひ、実際に使ってみてください。



(校友会ホームページ) QRコード

【アカウント取得方法】

- 新入生の皆様：ご入学後、大学から付与されるメールアドレス（～@edu.kaiyodai.ac.jp）宛に校友会ホームページのID・パスワードを配布いたします。
- 保護者の方・卒業生の方：校友会ホームページの「新規登録」ボタンから申請をお願いいたします。校友会事務局で内容を確認後、ID・パスワードを送付いたしますので、分かる箇所は可能な限りご入力をお願いいたします。(在籍確認の関係上、新入生保護者の方は、4月中旬以降の対応となります。)

また、本学卒業生を支援する同窓組織として「楽水会」「海洋会」があります。本学卒業生との強固なネットワークを築いておりますので、ぜひご覧ください。
 楽水会：<http://rakusui.or.jp/>
 海洋会：<http://www.kaiyo-kai.com/>

校友会に関する問合せ先：
 東京海洋大学校友会事務局
 電話番号：03-5463-4014
 メールアドレス：koyukai@o.kaiyodai.ac.jp

掲 示 版

薬物の乱用について

薬物の乱用は、本人の精神と身体に危害を及ぼします。また、友人や家族関係の崩壊にもつながるなど、本人だけでなく、社会全体に計り知れない影響をもたらします。このため、薬物の所持や使用は法律で禁止されており、違反者は厳罰に処せられます。

薬物に対して安易な気持ちや一時の興味で接することのないよう十分注意してください。

盗難に注意

下記の事項を守り、自己管理を徹底してください。

- ・貴重品は、できる限り大学には持参しないでください。
- ・やむを得ず所持する場合は、各自でロッカーに鍵をかけて管理してください。
- ・鍵は安易に解錠出来ないもの（ダイヤル式など）を選んでください。

悪質商法等に注意

消費者契約等に関するトラブルが増加しています。うまい話には要注意です。少しでも疑問を感じたら契約しないでください。また、身に覚えのない請求などは支払わないでください。

訪問販売や電話勧誘販売など、特定の取引の場合に、一定期間内ならば理由を問わず解約できるクーリング・オフ制度があります。もしも被害に遭ってしまったときは消費生活センターに相談してください。

カルト団体等の偽装勧誘に注意

キャンパス内において、自らが宗教団体であることを名乗ることなく、サークル活動や自主ゼミと称し、特定の反社会的なカルト団体に引き込まうとする「偽装勧誘」の事例があります。

声を掛けられておかしいと感じた場合はキッパリと断り、安易に電話番号、メールアドレス等を交換しないでください。また、不審な団体と感じたとき、あるいは勧誘活動を受けた場合は、下記まで知らせてください。

- 品川キャンパス：学生サービス課学生生活係
- 越中島キャンパス：越中島地区事務室学生支援係

飲酒についての注意事項

(1) 未成年者の飲酒は法律で禁止されています。

アルコールには麻酔作用があるので、未成年者が飲み方や適量もわからず無理に飲むと、急性アルコール中毒を起こしやすいといわれています。もし、誰かに勧められても、きちんと断ることが大切です。

(2) 飲酒の強要は絶対にしないこと。

未成年者やお酒に弱い方にお酒を強要することは絶対にしないでください。

(3) 飲酒運転は厳禁です。

「道路交通法」では飲酒運転のほか、飲酒者への車両の提供、運転者への酒類の提供、飲酒運転の車への同乗についても禁止されており、厳しい罰則が課せられます。

SNS、ツイッター、ブログ等の利用に関する注意事項

Facebookやツイッターに代表されるSNS（ソーシャルネットワークサービス）、あるいはブログなどを利用していると思いますが、インターネット上に書き込んだ内容は全世界に公開されることとなります。転載・拡散された場合等には、長期間ネット上に残り、何らかのきっかけで問題となることがあります。SNSなどインターネットへの書き込み、写真や映像の掲載・投稿には十分注意し、個人情報は書き込まないようにしてください。

大学ホームページ「在学生の方」－「情報セキュリティ」－「情報倫理ガイドライン」何か困ったことがあれば、周りの人に相談するようにしてください。SNSの公式サイトヘルプや問合せ窓口なども参考にしてください。

